

第8回

東京玉翠会

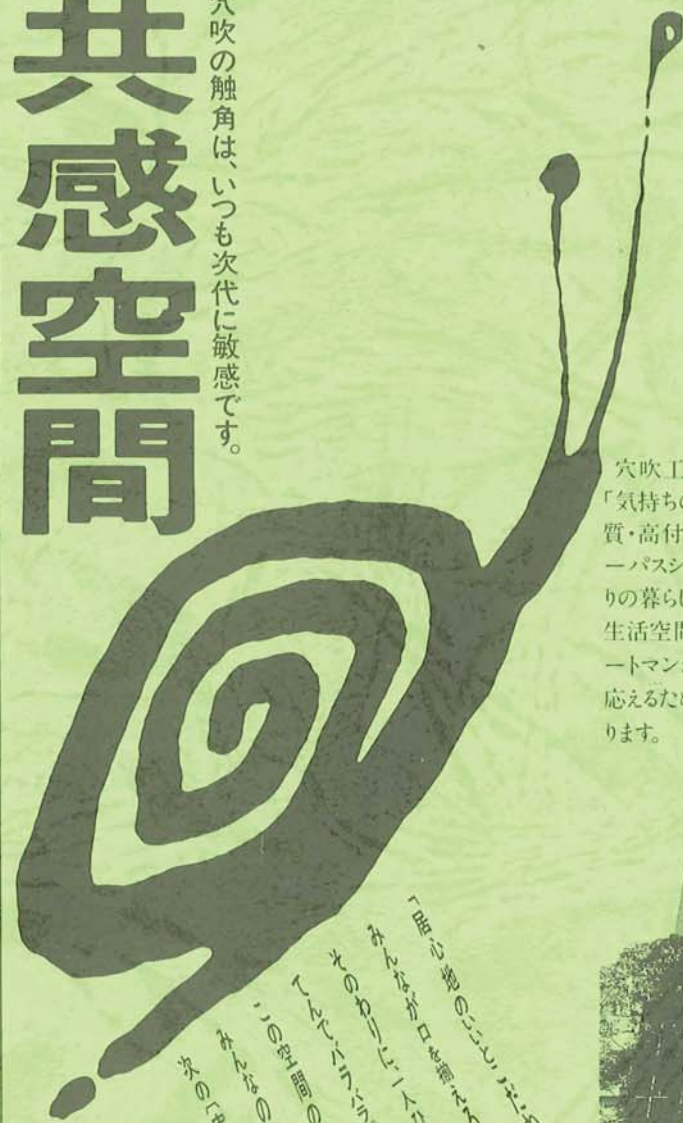


文化祭の青春

と き 平成2年6月30日(土)
午後5時～7時30分
ところ 赤坂プリンスホテル
クリスタルパレス

共感空間

穴吹の触角は、いつも次代に敏感です。



穴吹工務店の思想を一言で表現すれば、「気持ちのいい空間づくり」。この思想が、高品質・高付加価値の都市型分譲マンション「サーパスシリーズ」に生かされています。一人ひとりの暮らしへのフィット感を大切に、より豊かな生活空間を実現するための、国内外でのリゾートマンションづくりをはじめ、新しい期待感に応えるためのプロジェクトを次々と提案してまいります。



新本社ビル/インテリジェントタワー

快適な暮らしを創る

穴吹工務店
ANABUKI

〈設計・施工〉建設大臣許可(特-63)第1478号 宅地建物取引業免許建設大臣611545号 (社)日本高層住宅協会会員 (社)日本リゾートクラブ協会会員
本社：〒760 高松市藤塚町1-11-22 TEL：(0878) 35-7111(代表)
支店：東京・横浜・大阪・岡山・広島・高松・松山・徳島・高知・福岡・鹿児島
営業所：新潟・大宮・船橋・神戸・松江・山口・九電・新居浜・長崎・熊本・大分・宮崎

専務取締役 穴吹英隆(45年卒)

目次

式次第	2
平成元年度収支計算書(監査報告)	3
ごあいさつ 玉翠会会長	4
高松高等学校校長	5
香川県教育長	6
文化祭の青春	8
カルテットでデュークエイセス	松本 一路 18
文化祭の思い出	山口 純 19
生まれ変わる母校	中原 健一 20
アンケート集計結果	22
どおっしょんな	25
寄稿 40年の教員生活を終えて	久保 豊 28
世界に広がる剣道	大島 功 29
東京から見た高松	村尾 薫 30
百歳の赤ひげ先生	家高美重子 31
「余生」の只中に在って	辻部 俊介 32
忘れえぬ高中野球部	藤井 勲 33
花と緑の仕掛人	寺島 哲子 35
関白親父	河江 一仁 36
集まっていたあこなんしよるけん	久保 敏 37
救急医療の最前線で思うこと	小林 国男 38
生かされて生きる	安倍 隆典 39
「サンデーモーニング」の舞台裏	橋谷能理子 40
高松発41年卒より	立野 省一 41
高松中学校校歌	42
高松高等女学校校歌	43
高松高等学校校歌	44
朝日輝く(校友会の歌)	45
寄贈図書目録	46
第8回東京玉翠会総会幹事を担当して	箕田 俊介 47
東京玉翠会会則	48
東京玉翠会役員名簿	51
東京玉翠会高中部会幹事名簿	52
東京玉翠会晩翠会幹事名簿	54
東京玉翠会(高高)幹事名簿	55
商品寄贈会社	58

式 次 第

一、開会の辞 司会 松本一路・綾田雅子(昭和41年卒)

一、東京玉翠会副会長挨拶 宮井仁之助(昭和14年卒)

一、議 事

1. 報告事項

(1) 会計報告

(2) 監査報告

一、来賓紹介

一、来賓挨拶

高松高等学校校長塩井敏治先生

玉翠会副会長 井上房一氏

一、乾 杯

一、懇親会次第

1. ゲーム

2. 母校図書購入資金贈呈

3. 次回総会担当幹事紹介(昭和42年卒)

4. 校歌斉唱

一、閉会の辞

平成元年度収支計算書(案)

自 平成元年4月1日

至 平成2年3月31日

東京玉翠会

会長 大 島 功

<特別会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
会 場 使 用 料	5,903,868	総 会 出 席 会 費	5,288,000
会 場 運 営 費	1,856,020	男 子 447人	
総 会 準 備 費	1,069,493	女 子 302人	
母 校 寄 付 金	150,000	寄 付 金 収 入	256,389
		雑 収 入	2,962,884
		一般会計よりの受入金	472,108
合 計	8,979,381	合 計	8,979,381

<一般会計>

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額(円)	科 目	金 額(円)
支 部 交 付 金	240,300	前 期 繰 越 金	4,440,261
通 信 費	25,982	年 会 費	585,000
事 務 用 品 費	5,906	預 金 利 子	109,367
特別会計への繰入金	472,108	立 替 金	100,000
次 期 繰 越 金	4,490,332		
合 計	5,234,628	合 計	5,234,628

次期繰越金

内訳 (イ) 百十四銀行東京支店

普通預金 No.125044 551,666円

定期預金 満期 2.6.27 1,059,602

定期預金 満期 2.6.27 1,055,053

定期預金 満期 2.11.6 1,760,627

(ロ) 手持現金 63,384

(4,490,332)

脚注 東京高中会並びに晩翠会東京支部よりの受入基金1,500,000円は、上記定期預金にて運用されています。

上記収支計算書について監査の結果、適正なることを認める。

平成2年5月15日

監事 鳥 羽 忠 臣 ㊟
同 鷹 尾 律 子 ㊟
同 鴨 田 昭 代 ㊟



ごあいさつ

玉翠会会長 綾田 整治

平成2年を迎え、さわやかな新緑の候に、今年もまた高中会、晩翠会、高高会の三部合同の東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。

本会の開催にあたりまして、支部長様をはじめとして、役員の方々、特に今回幹事を担当されました昭和41年卒の皆様方のご尽力に厚くお礼申し上げます。

本年は、高校生活の一側面を彩った文化祭を振り返り「文化祭の青春」をテーマに企画運営されるとお聞きしておりますが、それぞれ青春の日々を振り返り、恩師や旧友達と懐かしい思い出話に花が咲くことでしょう。

21世紀を目の前にして、今皆様の故郷香川県では、三大プロジェクトとして期待されておりました、県民の夢が実現しようとしています。すでに、瀬戸大橋の開通、新高松空港の開港と、二つまでが現実のものとなり、四国横断自動車道の完成も迫っています。

母校高松高校におきましても、新体育館完成の後をうけて、念願でありました全く新しいタイプである都市型の新校舎が、ただ今建設の半ばにあり、来年の春には完成が予定されております。同窓会といたしましても、この校舎改築に際して同窓会館を建設して、学校にお贈りすることにいたしました。これは「玉翠会館」と呼ばれることになっています。

校舎の五階部分に建設されることになっていますが、これは全国にも例を見ないので、在校生にも十分に使っていただくことを第一としたいという、同窓生の気持ちの表れでございます。学校と同窓会とが、ともどもに発展してゆく、交流の場として活用したいという願いからでございます。

今まで以上に、緊密に協力しあい、母校と同窓会の発展のために一層のご助力、ご支援をお願い申し上げます。

どうか、落成の際には、ぜひ母校を訪ねて、その新しい姿をご覧くださいませようお待ちしております。

東京玉翠会のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申しあげましてご挨拶いたします。



ごあいさつ

香川県立高松高等学校

校長 塩井 敏治

今年の春は花の開花がはやく、藤などは、花房の間から若い若葉がにじんだようにのぞいているという有様だし、ツツジはツツジで、はやくも讃岐路を彩り、初夏の日差しに照り映えて、まさに燃えたつという言葉がびったりの風情を呈しています。

その後、会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととおよろこび申し上げます。今年も、人と人との暖かいつながりの輪としての東京玉翠会総会が盛大に開催されますことを心からうれしく存じております。

昨年は、校舎の全面改築という思いも手伝ってか、数多くの卒業生が母校を訪ねてくださいました。皆それぞれに廊下にたたずみ、いちだんと凹みの大きくなった階段を踏みしめ、中庭の楠を見上げ、しばし、思い出に浸って帰って行かれました。この9月中旬に予定されている文化祭は、現校舎での最後の文化祭であり、在校生達も生徒会を中心に、半世紀を超える校舎への感謝の念をこめて、例年とはひとあじ違ったものにするべく、張り切って準備に取り組んでいるようです。

新校舎及び玉翠会館の建築工事は、平成3年1月15日の竣工をめざして順調に進行しており、この8月末には5階部分までコンクリートの型枠ができあがる予定であります。特に5階に建設される玉翠会館は、在校生にとりまして、この上ない先輩諸兄弟からの贈り物であり、種々夢を描いております。

人生において、優れた先輩を持つということは、まさしく宝物を与えられたにひとしく、今年も約250名ほどの初々しい会員が首都圏の大学に進学し、東京玉翠会の仲間入りをさせていただきました。近年、大学入試にあたり、地方の公立高校が苦戦しているなか、本校の卒業生達は、今年も質・量ともにすぐれた成果をあげてくれました。これは本人達の努力もさることながら、先輩が築いてきた伝統の力が多分にあるのではないかと思います。

平成5年には、本校創立百周年になります。大樹のごとく深く長い歴史の根と、無限に伸びゆく活力とをあわせもった学校としますますます発展させていかなければなりません。本校の輝かしい2世紀に向けて……。よりいっそうのご指導とお力添えをお願い申し上げます。

終わりになりましたが、東京玉翠会のご発展と、皆様方のご健勝を心から祈念いたします。



祝 辞

香川県教育長 松 繁 壽 義

第8回東京玉翠会総会の開催、おめでとうございます。今回は、昭和41年度卒業の皆さんが幹事をされているとのことですが、さぞかしご盛会のことと存じます。

私が最初に高松高校とご縁ができましたのは、昭和40年から45年までの5年間ですが、今回の幹事の皆さんとも授業などを通して関係があったわけです。

当時は、ちょうど生徒の急増期で、1学年18クラス、1クラス55名編成の頃でしたから、学校が生徒で溢れんばかりであったのを覚えています。それだけに、生徒にもたくましさがあり、教室にも活気がありました。補習科の担任をしたこと、宿直の晩に模擬試験の採点をしていて夜が明けたことなども、今は懐かしい思い出です。

昭和62年には、校長として再びお世話になることになりましたが、平成元年3月までの2年間、大過なく勤めさせていただいたのも、ひとえに玉翠会の皆様のご支援のお蔭と感謝いたしております。ことに東京玉翠会の皆様には、温かいご激励やら力強いご援助をいただき、終生忘れ得ない思い出となっております。

現在、はからずも香川県の教育委員会において、県下の教育全般について思いをめぐらし、力を尽くさなければならない立場に身を置いているわけですが、高松高校に勤めさせていただいていた時とはまた違った意味で、高松高校の担う役割の重大さを感じております。

社会のさまざまな場面で価値の多様化がいわれ、個性や創造性が説かれていることはご承知のとおりですが、それを教育の場で実のあるかたちに生かしていくのは、なかなか容易なことではありません。しかし、玉翠会会員の皆様が各界各層で幅広く活躍され、重い社会的責任を果たしながら、しかも「至誠一貫」を旨とし、また「雪持ち笹」のもとで学んだという縁を大切にされている姿を思うとき、そこに教育における個性化や創造性というもの一つの答えを見るような気がいたします。歴史と伝統を踏まえた独自の気風を持つ

学校づくりというものを、県下全体に推し進めていきたいものと、高松高校のすぐれた伝統を思い浮かべながら考えているわけでございます。

この機会に、香川県の教育、文化、スポーツの現状について少し紹介させていただきますと、本県は置県百年を経て、瀬戸大橋の開通、新高松空港の開港と飛躍発展の時を迎えており、学校教育を充実してすぐれた人材を育成することがますます重要になってきています。また芸術文化面におきましても、人々が心の豊かさをより強く求めるようになってきており、新しい図書館や美術館等を整備することなどが課題になっていきます。

さらに、平成5年には、国体が徳島県と共同で開催されますが、香川県民の力と意気を全国の人々に示す大変よい機会でもあり、目下その準備を鋭意進めておりまして、玉翠会の方々のご理解、ご協力をお願いしているところです。

最後になりましたが、東京玉翠会の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしますとともに、変わらぬご厚誼のほどよろしくお願い申し上げます。



あの感動をもう一度！

第1回 昭和25年 1950 高中と県女が統合して1年半後、念願の文化祭が実現した。2代目石塚澄子自治会長の時に発案された文化祭は1年間の空白の後、3代目三井俊治自治会長の時に行われた<12月22-24日>。社会的にはまだ男女共学が偏見をもって見られていた中で、バザー、スクエアダンスなどに大成功を収め、当時の高生1800余名は大いに鼻を高くし、意気が上がった。

第1回文化祭委員長の英義弘氏（故人）は当時を述懐している。（「高松高校新聞」186号より）

「とにかく最後まで資金難と食料不足に悩まされました。私たちが文化祭の準備を始めたのは昭和25年11月ごろでしたが、まだ食料統制がきびしく、やっとお金



を出してうどんが買えるようになったばかりでした。そんなわけでぜんざいの砂糖もあずきも配給だけでは足りませんから苦勞してやみで買ってきたものです。そんな砂糖をなめるヤツがいますね。本当に今ではちょっと想像もつかないでしょう……」

「そんな役員之苦勞が実ってか、紅茶ケーキ券15円、ぜんざい券20円、うどん券15円の3枚1組のバザー券が当日までに3000枚ほど売れた。また食料不足のおりから、当日お金をもつてうどんを食べにくる人も相当あったとか。「文化祭は利益が多ければいいというのではないが、それだけ一般市民をひきつけたことは当時の文化祭としては成功したといえると思います」と英氏は語る。

とにかく資金0円から出発して、5万余円の黒字を収めたというのだから、その人気がいかに大であったか想像に難くない。

「第1回の文化祭が成功したのはバザーともうひとつスクエアダンスのおかげで

す。先生に『どうせやるなら人々をあっといわせるようなものをやれ』と言われてふと考へついたものがこれなんです、なにしろ男女共学が始まって、まだ1年半しかたっていませんでしたから、みんなにはスケダンなんて見たことも聞いたこともない代物でした」

そのSDなるものの出現について高生新聞18号に次のような記事が出ている。題して「スクエアダンス猛練習」

「最近スクエアダンスという前代未聞の珍妙なものが突如学園に飛び出し、敗戦、統合、共学とめまぐるしい変化になれている我々もさすがにこれには目を見はった。『高校生がダンスをする』なんてことは数年前まではおよそ想像もつかなかったであろう。それが現在、実現実在しており、それも練習の鬼とまではゆかないまでも、それくらいの熱心さで全校生徒が練習しているのである。

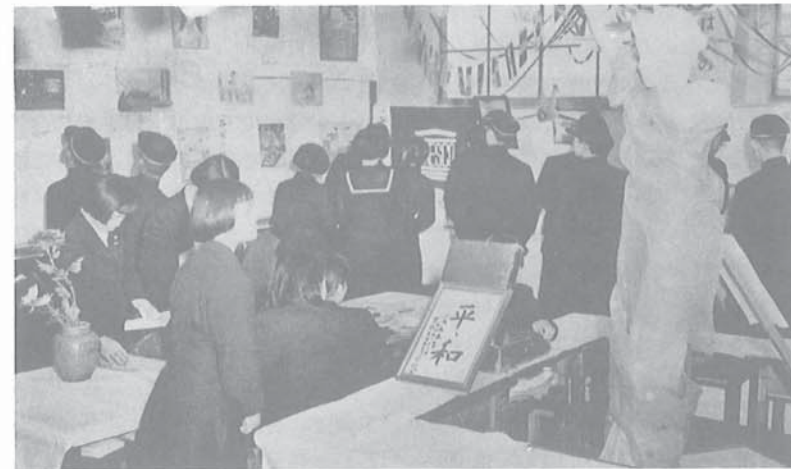
まだ一部非難している者もあるが今に夢中になってくるであろう。——内心はこの新しい勉強兼プレイ的なものに多大な興味をもっているのだから——。とにかく何かやといわれながらもスクエアダンスは厳肅な事実として毎正課の時間に和気あいあいのうちにもつばら文化祭めざして猛練習がつづけられている。……高生だけではない。競輪宣伝用バスを借りてきて市内を宣伝してまわった。クリスマス前のダンス気分もあったせいか当日は押すな押すなの大盛況。「高生へ行けばダンスができる」というので、明善、香大などからも大勢くり込んだ。

「特に三日目は日曜でしたから、その数はたいへんなものでした。会場の旧体育館からはみ出して、12月の寒い風が吹きすさぶ運動場で砂ぼこりをあげながら運動場いっぱいにはうずをまいているのを見た時はうれしくて涙が出てきました」こうした成功について「高生は何でもりっぱにやれるということを見せつけたみんなの気持ちと先生方が影になって助けてくれました」と英氏は語る。

この第1回文化祭が一般の人々にどのように受けとられていたのであろうか。昭和25年12月23日付の四国新聞に「男女学生の踊りの輪」という見出しで次のような記事が載っている。

「万国旗とモールに飾られた会場『ジングル・ベルズ』が流れ若い男女学生の踊

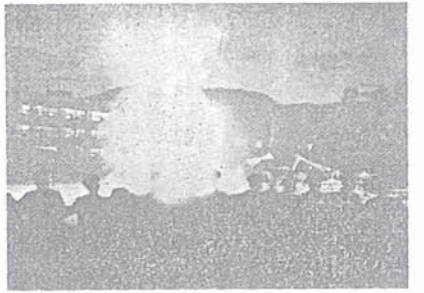
りの輪が楽しく回ってゆく—高松高校第1回文化祭はきのう22日幕を開き、体育館でスクエアダンス・パーティ講堂で香川県下高校弁論大会や劇『斜陽』などが催されたほか全教室には被服・文芸・映画・工作を始め各部の趣向をこらした作品が展覧され多彩な行事で賑った。……」





- 第2回 昭和26年 1951 宣伝のため屋上に校旗をたてる。反省会に、各部各係が別々にパンフレットを発行した。それらはまとめて印刷し、統一性をとらなければならない、講堂の換気に気をつけなければならない、等々の事項があげられた。<11月3-5日>今年度より第1回定時制文化祭が開かれる<11月25日>。以降、毎年開催。
- 第3回 昭和27年 1952 バザーその他で4万円の赤字が出る。自治会、財政的に行き詰まる。スクエアダンスは11~12種目あった。
- 昭和28年 1953 文化祭を改め、第1回芸能祭となる<12月22・23日>。これは例年の通り、演劇、音楽、映画展示会、スクエアダンス(3,4種目に限定)は実施するが、部分展はなくなった。つまり、校外には開催を宣伝せずに、校内の生徒だけを対象に研究発表をすることになった。予算不足、大学進学適性検査の1カ月繰り上げ、第8回国民体育大会が当地で開催されたことに加え、生徒の生徒会に対する無気力、無関心等が理由としてあげられている。バザーは中止。
- 第4回 昭和29年 1954 新企画のクラス演劇に6組が出場した。招待演劇として明善高校演劇部が来校し「虫めづる姫君」を上演。招待作品は写真同好会が香川大学、明善高校写真部の作品を展示、文芸部が他校の文芸雑誌展示、美術部が招待絵画の展示と数多くあり、ユネスコ同好会は、三豊郡青年会長の島田唯行氏を招いて「アメリカ農業の実態」と題する講演を開催した。また園芸部は展示並びに菊、カーネーションの即売会を開いた。バザーも実施した。<11月22・23日>
- 第5回 昭和30年 1955 今年度落成した新講堂で地元栗林動物園副園長香川美民氏が「キリマンジャロを仰いで」と題し講演、盛況であった。クラス演劇も盛況で9組が出場。ポスターは1500枚印刷して、その内560枚をクラスの方に、残りを琴電の広告社の方に依頼した。昨年は1枚の手数料が2円であったが、今年は3円に値上がり、335枚を1000円でお願ひし、あとの残りを本部役員で処理した。文化祭案内は2000部印刷し、校内で1100部余さばき、一般には85部売れた。バザーはうどん4731枚、ケーキ2200枚、ぜんざい2692枚、計9623枚が売れた。<11月22・23日>
- 第6回 昭和31年 1956 河野義徳文化祭委員長は、目標として「高度に予備校化された校々生活におけるオアシスにする」を挙げた。自治会、ユネスコ同好会、新聞編集局の共同主催で、香川大学教授大泉行男氏が「東洋と西洋の考え方」と題して講演。<11月17・18日>

- 第7回 昭和32年 1957 白井孝義自治会長「有意義な文化祭」を公約。目新しい行事として弁論大会が行われる(参加弁士7名)。春の体育祭に実施されなかった仮装行列が行われる(以降恒例)。校友会展示コンクールが始まる。気づかれたファイア・ストームは、ホームルームの時間を利用して行われたアンケートの結果、賛成827、反対652の結果をふまえ実施され、高中以来の伝統を守った。講演会は香川大学助教授三沢邦彦氏の「第二の月」。高高新聞編集部が県下各校に文化祭についてのアンケートを行った結果(22校回答)、ファイア・ストームと講演会は、本校だけの異色ある催し物だということがわかる。<11月2・3日>
- 第8回 昭和33年 1958 統合10周年記念および3階鉄筋校舎完成記念落成式を兼ねて行われる。目新しい特色としては、演劇が例年以上に多く、演劇部2本、語学部の英語劇2本、クラス劇7組で11組にのぼった。バザーを8種類に増やした(ぜんざい、おでん、うどん、アイスクリーム、ケーキ、すし、サンドイッチ、牛乳)。講演会は久保田香川県教育長の「欧米の印象」。仮装行列、ファイア・ストームをプログラムの中に繰り入れ、開催期間は3日間であった。<11月2~4日>
- 第9回 昭和34年 1959 校舎増築落成記念。新しい趣向として「もの言う会」を行う。議題は「現行の普通科高等教育過程は将来いかに役立つか」で出席者10名を賛否両論の2班に分け、20分間各自の主張をたたかわす。出席者は討論会前に、各ホームルームの意見をまとめ、それと自分の考えを合わせて会に臨むため、現代高校生の高校教育に関する考え方が現れた。この年ファイア・ストームを初めて女子に公開する。「女子生徒は校舎の方へ引き退がって見学、男子生徒は肩をくんで、ファイア・ストームにうつった。女生徒はストームを見るのは初めて。男性群の情熱を爆発させているのを興味深そうにながめていた」。(「高高新聞」118号)またクラス男性合唱が初めての試みとしてあった。講演会はNHK高松放送局長安斉義美氏の「国際情勢下の日本」。バザーは、ぜんざい、サンドイッチ、ケーキ、うどん、おでんの5種類。<11月2・3日>



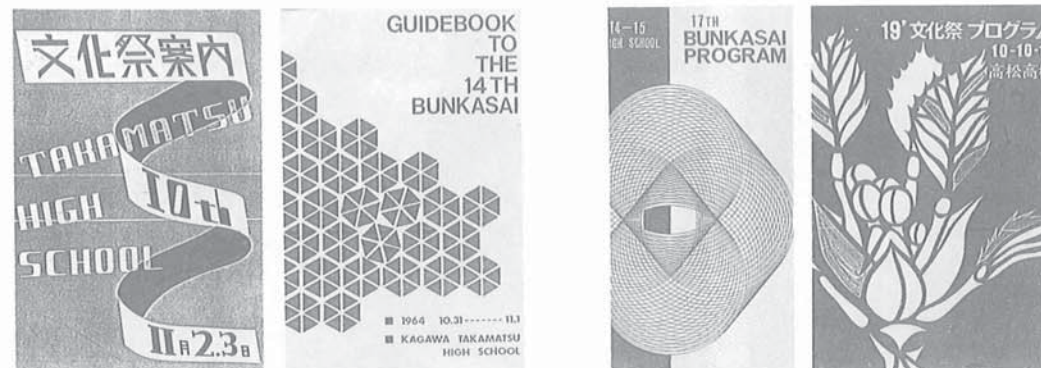
- 第10回 昭和35年 稲垣剛自治会長「有意義な文化祭」を公約。企画、運営ともに1年生が行う。昨
1960 年のファイア・ストームが大いに荒れたので中止の声が聞かれたが、自治会も予
行演習を行うなど慎重な態度をとり、無事に行われる。創作ダンス復活。講演会
は高松市会議長松田和夫氏の「ソ連より帰って」。<11月2・3日>
- 第11回 昭和36年 ファイア・ストーム中止。運動場の整備の都合でボン・ファイアとなる（以降恒
1961 例となる）。新番組に全校生参加の「高高音頭」が行われる。この音頭は久保隆
美校長が作詞したもので、踊りの中に希望・平和・発展・団結を表している。放
送部主催の紅白歌合戦が復活した。<11月2・3日>



高 高 音 頭

- 1 えんやこら
みんな笑顔で 歌声そろえ
高高音頭を うたいぬく
そらいけみんな エンヤラサ
空に希望の 虹がたつ
- 2 えんやこら
みんな肩くみ 歌声そろえ
高高音頭を おどりぬく
そらいけみんな エンヤラサ
山に団結の 歌ひびく
- 3 えんやこら
みんな手を取り 歌声そろえ
高高音頭で 輪になろう
そらいけみんな エンヤラサ
国に平和の 鐘がなる
- 4 えんやこら
みんな胸はり 歌声そろえ
高高音頭で がんばろう
そらいけみんな エンヤラサ
世界発展の 音頭とる

- 第12回 昭和37年 三好勉文化祭委員長のスローガンは「堅実な文化祭」。新しいプログラムとして
1962 ジェスチャーが行われる。また高松商業高校応援部と高高応援団との応援交歓会
が成功。スクエアダンスは、工事のため使えなくなった旧体育館にかわり、本校
舎屋上で行われた。<11月3・4日>
- 第13回 昭和38年 千葉生徒会長のスローガンは「堅実な文化祭」。高高創立70周年記念を兼ねて行
1963 われた。先輩の綾部運輸大臣が来校し、祝辞を述べた。記念展示として新館の2
階は高中、3階は県女、4階は高高についての資料を展示して注目をあつめた。
展示審査はやめる。クラス対抗コーラスが始まった。スクエアダンスは再び旧体
で盛況に行われた。<11月2・3日>



- 第14回 昭和39年 折坂義雄生徒会長のスローガンは「私たちの手で私たちの文化祭」。川西進文化
1964 祭委員長のモットーは「充実した文化祭」。クラス単位の演劇がなくなり、クラ
ブ単位などの時間が長くなり、ステージ番組と仮装行列の重複をさげた。ステー
ジの拡声器の補充、展示審査は先生方の審査の他に外来者からもアンケートをと
る。新企画は立てず、今までのものを充実させるという特徴でモットーを生かした。
展示は初めて参加する応援委員会など体育系3、文化系18、計21クラブの参
加。茶花部は着物の接待が好評を博した。<10月31日・11月1日>
- 第15回 昭和40年 文化祭が学校行事化した。昭和38年の新指導要領によりそうになっていた。校長は
1965 「生徒の自主性は守る」と明言。大谷義雄文化祭委員長のスローガンは「みんな
でやる文化祭」。エレキギターが初登場した。放送局との協力で中庭にステージ
番組を実況中継するテレビを設置する。展示審査はアンケートをなくし、先生、
生徒、文化祭委員の中から15名選出し、意義・アイデア・美観・理解の4点を基
準に審査を行う。外来者に対しては簡単なクイズ式アンケートを行って次回の文
化祭の資料とする。生徒配置を2交替制から3交替制にかえて全員に参加して
もらう。バザーは生徒の手を少しでも加える。例えば、サンドイッチひとつにして
も直接パン屋から来たものを出すのではなく皿に盛り合わせるとか。ぜんざいを
秋の青空の下で食べようと、テントは使わなかった。クラス装飾はじまる。反省
会に校長をはじめ7人の先生方が出席した。<10月30・31日>
- 第16回 昭和41年 修学旅行の関係で例年より期日が2週間くり上げられた<10月15・16日>。翌日
1966 を代休として全員参加をとえ、また先生方も生徒配置につき、学校全体の文化
祭となる（以降毎年）。この年より文化祭に統一テーマを設けることになり、各
クラスから募集した。しかし、結局よいテーマが集まらず、文化祭本部が決定し
たテーマは「眠れる自己に疑問符を」。藪下義文文化祭委員長のモットーは「考
える文化祭」。「高校生活」「文化祭」「社会をこう考える」のテーマで弁論大
会を行い、7名が出演。その後同じテーマや一般生から募集したテーマで討論会
を行う。旧体で歌声の集いを開く。展示審査をやめて、展示批評を行い、後日生
徒会室の前に提示する。前夜祭で「高松おどり」を踊る。バザーに巻きずし、き
つねずしが登場する。各バザーの会場を音楽で区別し、おすしの会場は純日本風
な装飾で趣向をこらした。クラスバザー「フルーツバーラー」も開店。



- 第17回 昭和42年 1967 テーマ「随所に主となれ」を掲げ、「全員参加」と「より文化的な文化祭」を方針にした。この年文化祭委員会は原則として広告を取らないことになり、各クラブに広告の取り先を割りあて、そのため予算が大幅に減った。初めての試みとして読書会（議題「心」「友情」「狭き門」「老人と海」）を開き、討論会の前に話し合うムードをつくりあげる。弁論大会はクラス対抗となり、テーマは自由。クラス対抗コーラスを増やし、三年生は総出演で25クラス、先生方を含め参加チーム26となる。バーラー瀬戸を開店。バザー会場にテーマ「山」「海」「空」を決め、クラス装飾をした。久々に講演会を開き、香川短期大学学長小野嘉明氏が「美術の発生」と題して講演。<10月14・15日>
- 第18回 昭和43年 1968 テーマ「脈打て若さ」を掲げ、若さを象徴した高さ8メートルのメインポールを運動場に立てた。従来の文化面の企画の充実を図る。クラス対抗コーラスは3年生全クラスが参加し、参加チーム32と大規模なものとなる。講演会は香川大学教育学部長近石泰秋氏の「情感の世界」。<10月12・13日>
- 第19回 昭和44年 1969 テーマは「創造—豊かな人間性を求めて」。新企画クラス展示登場。内容は「あなた好みの館（お化け屋敷）」「題名のない展示」「音と美の戯れ」。全バザー会場にクラス装飾をする。討論会のテーマに「安保を考える」と、社会問題がとりあげられた（他には「文化祭の娯楽性と文化性」）。講演会は京都大学名誉教授宮地伝三郎氏が「動物の集団とヒトの社会」について。警備は、例年柔道部と剣道部がやっていたが、一般生がすることになった。<10月10・11日>
- 第20回 昭和45年 1970 テーマは「躍進」で「堅実に前進していく姿、日々の生活から生まれてくる可能性の結集」を意味している。新企画としては、映画会「13階段への道」、旧体での歌声パートによる歌声喫茶、そしてのど自慢。弁論大会は中止になり、クラス演劇が復活した。講演はNHK解説委員の原田暁氏。バドミントンコートに休憩所、玄関に伝言板が設けられた。<10月10・11日>
- 第21回 昭和46年 1971 テーマは「オアシスを求めて」。開催期間が従来までの2日間から3日間に延びた<10月1～3日>。中庭でブラスバンドの演奏、また売店の装飾の優秀なクラスには賞品および賞状がでた。

- 第22回 昭和47年 1972 テーマは「新しさの追求」。基本方針は「仕事に計画性を」「みんなで創り上げよう」「楽しめる文化祭に」。第1回から伝統のスクエアダンスを廃止。かわりに旧体でクラス演劇。演劇部は廃部されたので有志の演劇。<11月2～4日>
- 第23回 昭和48年 1973 テーマは「個性の探求」。方針は「全員参加」「楽しい文化祭」「統一テーマにそった文化祭」「マンネリ化の追放」「人間性の回復」。文化祭委員会の中に構想実行委員会をおく。仮装行列は中止。新企画に個人展示、体育祭で中止になった民謡（旧高松おどり）を踊る。新旧体育館のステージに加え、中庭に屋外ステージを設置。「ミス高高——男子女装コンテスト」でその美(?)を競う。お化け屋敷と夜店が好評だった。<11月2～4日>
- 第24回 昭和49年 1974 テーマは「超越」。仮装行列を復活。「“超越”——何を乗り越えるのか?…まずそれを考えてみてください」。(友国弘敬文化祭委員長・プログラムより)<11月3・4日>
- 第25回 昭和50年 1975 テーマは「若さの叫び」。「『若さの叫び』。何を叫ぶのか。それが問題なのだ」(喜多宣文文化祭委員長・プログラムより)。
- 第26回 昭和51年 1976 テーマは「青春の砂場」。“砂場”という言葉の中には「創造性の追求」という意味があり「独創性のある文化祭にしたい」という意図があった。文化祭讃歌を作る。期日が例年より早まり、この年より9月に実施<9月25・26日>。教室展示に新しい工夫が見られた(装飾に池を作る、またH・R同士の協力など)。秋山生徒会長の文化祭廃止案が出され、文化祭の意義が問われた。
- 第27回 昭和52年 1977 テーマは「番町三丁目のルネサンス」。「この言葉の裏には、力強い生命力というものが隠されており、すなわちそれが高高スピリットと固く結ばれているのです。このテーマはローカル的な感じはします。しかし、親しみやすい雰囲気を与え、高高生活の性格をよくだしていると思います。番町三丁目、ここが文化祭の舞台です。“ルネサンス”とは“文芸復興”とも言われるように、私たちの日頃の活動の現れと言えます。私たちは常に個性の探究、自然の発見を主眼とし、活気性のある、そして変化のある高高生活をおくろうと望んでいます。望んでいるだけでなく、実現するために、創造力を大いに見出し、フルに発揮して、目標を達成しようと励んでいます」。(プログラムより)<9月24・25日>

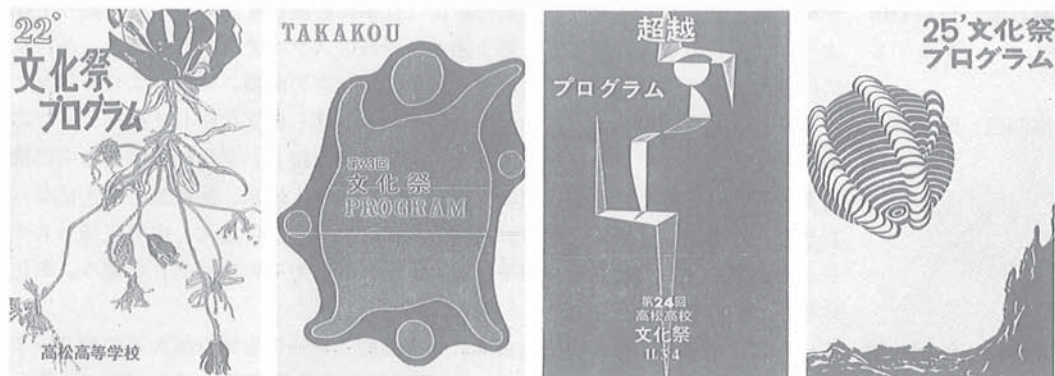
文化祭讃歌

高松高校 第26回文化祭讃歌

「青春の砂場」

作詞 藤沼鈴代(2-2)
作曲 赤井孝代(2-9)





- 第28回 昭和53年 1978 テーマは「究極」。「とにかく高高生の心の隅にはいつも“究極”というものが
あるのです。かならず展示にもテーマの意味が自然に表されていると思います。
“究極”は高高生のさしせまった心に等しいと思います」(松野慎介文化祭委員
長・プログラムより)。
- 第29回 昭和54年 1979 テーマは「打開——精神に革命を!」。「私たちが、全面に押し出したかったの
は“現状打破”ということです。(中略)私たちが求めているのは、目先だけの
ごまかしの新しさ、変化だけではなくて、肌で感じとることのできる熱気なの
です」(プログラムより)。文化祭テーマソング「明日に向かって」をつくった。
<9月21-24日>
- 第30回 昭和55年 テーマは「飛翔——先駆80年代」。かくし芸大会が盛況。<9月27・28日>
- 第31回 昭和56年 1981 テーマは「開拓——1981フロンティア」。山下生徒会長は後夜祭を公約にし
たが、結局中止になった。国際障害者年で養護学校、盲学校、聾学校の生徒達を
招待。3年生がHR展示に参加し、模擬裁判を開く。前夜祭の仮装大歌合戦が大
好評であった。<9月26・27日>
- 第32回 昭和57年 テーマ「伝統再創造」。<9月25・26日>
- 第33回 昭和58年 テーマ「時代を超えたドン・キホーテ」。<9月24・25日>
- 第34回 昭和59年 テーマ「ODESSEY——新しき創造の旅へ」。<9月22・23日>
- 第35回 昭和60年 テーマ「MEDITATION——その静寂の中から」。
- 第36回 昭和61年 テーマ「AUFHEBEN——理想への挑戦」。<9月20・21日>
- 第37回 昭和62年 1987 テーマ「EXPLORATION——今、失われたものを求めて」。テーマ募集
のために「文化祭BOX」を設置した。
- 第38回 昭和63年 1988 テーマ「高高新創世記——GENESIS」。基本方針は「全員参加、1人1人
が主役の文化祭」「お互いのいい所を発見する文化祭」「高高生としての自分
を見つめ直す文化祭」「伝統を生かし、伝統を越え、新しい伝統をつくる文化祭」
2つの旧体育館が姿を消し、この年より新体育館を利用。<9月17・18日>
- 第39回 平成元年 1989 テーマ「光彩——天然高高文化祭」。基本方針は「文化的文化祭にしよう」「完
成度の高い文化祭にしよう」。校舎改築に伴い、ナイトフェスティバルのキャン
プファイヤーは中止、模擬裁判が復活した。また新しい趣向の催し物が登場し
た。<9月16・17日>

第29回文化祭テーマソング「明日に向かって」

作曲：角森さとる、編曲：TRS、作詞：大西聡 (2-6)多田信也 (2-6)

♩ = 80

1979 3月の こぼれしけい い とみの ふくの なにかしじけい
こころのうらみ うたけにの っ-に っ-に っ-に っ-に っ-に っ-に
や れる とまに - せ、て まよ
うあ まいりえ 17かいで うあ いっかとお321 ちゃんだ
うあ あいやらむ かつ て 124の 124の あす

- | | |
|---|--|
| <p>1 僕は君の 言葉を信じたい
瞳の奥の 何かを信じたい
心の中で うずまくものは
いつになったら 消えさるのだろう
やれるときに やってみようよ
いつでも いつでも
さあ 希望をすてないで
さあ いつか通る道なんだ
さあ 青い空に向かって
ぼくらの ぼくらの 明日(あ)さ</p> | <p>2 僕は自分の 心を追い
僕の心は 君を追い続ける
ぼくらの間の このわだかまりは
いつになったら なくなるのだろう
今この時に かけてみようよ
いつでも いつでも
さあ 希望をすてないで
さあ いつか通る道なんだ
さあ 青い海に向かって
ぼくらの ぼくらの 明日さ</p> |
|---|--|





カルテットで デュークエイセス

松本 一路
(昭和41年卒業)

年1回の同窓会に、どうして約800人もの人達が集まるのだろうか。その動員のエネルギーたるや相当のものだと思う。貴重な時間と経費をさいて、赤坂に向かわせる魂の揺らぎは、一体何処から生まれてくるのだろうか……。

「文化祭の青春」をテーマにとは、相当幹事団もなかなかうまいネーミングを考えたものだと思う。甘酸っぱくて、ホロ苦い……当時を思い出して思わずニヤッと笑い出したいくなるような体験を誰もが持っているからである。それらが、高高時代のいつの時期だったかは覚えていないものの、妙に、文化祭のイメージと結びつくから不思議である。

私は、高校3年間、合唱部に入っていた。混声四部のコーラス部である。今だに声は高い方であるが、当時、テナーであった。放課後、毎日、音楽教室でワイワイ騒ぎながら練習していた。われわれのちょっと前までは、県内のコンクールでは常勝であったが、どういふわけか、私たちの時代は坂出高校に次いで3年間、残念ながら常に2位であった。この成績については、当時、少しも悔しい思いをした記憶はない。ということは、思う存分クラブ活動を楽しんで満足していたからであろう。ご多分にもれず、ある女生徒に淡い恋心を抱き、仲間に相談したら、結局、恋の鞘当てに展開してしまい、ああ！人生とは何と複雑怪奇なものなんだろうと悩み我が生涯もっともおおせいだった食欲がすっかり減退したのを覚えている。

そうした環境の中、仲の良い男4人でカルテットを結成した。当時、流行っていたデュークエイセスの楽譜を集め、十数曲マスターして、それを3年秋の文化祭で披露することにした。私はバリトンで、曲の紹介などの司会役もすることになった。(他の3人は、それぞれ有名な大学のグリー・合唱団に進んだが、私は今の仕事の真似事のようなクラブに入った。文化祭の司会役になったのがアナウンサーになるきっかけだったかもしれないと思っている)

11月の文化祭1週間前あたりから飾り付けのための、音楽教室での泊まり込みが宿直の先生の目を盗んではじまった。早朝の、女の子からの差し入れ弁当の味が美味しかったのを覚えている。そして当日、白のワイシャツに、赤いリボンのテープで作った蝶ネクタイをピンでとめ、詰め襟を内側に折り込んだ黒の学生服というユニフォームのわれわれ4人は、スポットライトを浴びながら、美しい？ハーモニーを披露したものと、今だに信じている。25年も前のことなのに、断片的ではあるが、記憶と情景が蘇ってくる。

授業など他の高校生活のことはほとんど印象に残っていないのに、クラブでの思い出が高高時代の全てのように思われるのも、当時、それだけ青春の情熱を傾けていたからであろう。

合唱をやっていたことに感謝することがひとつある。声、声帯が強くなったことである。私はスポーツ中継を担当しているが、長時間にわたって喋り続けることが多い。一昨年暮れ、テニス・デビスカップ世界決勝、西独―スウェーデン戦衛星放送で、実に、8時間ナマ放送したことがあった。試合の間にトイレに駆け込みカップヌードルをすすりながら、解説の坂井利郎さんと放送を続けた。この8時間のナマ放送というのは、NHKスポーツ放送の最長記録だそうである。お陰で、長い中継になっても、声がつぶれない自信だけは持てるようになった。

現在の私と25年前の私を結びつけるチャンスが訪れるという。25年の空白がいきなり埋まる期待を抱きつつ、胸踊らせながら赤坂にやってきた。

(NHKアナウンス室勤務)



文化祭の思い出

山口 純
(昭和33年卒)

3月まで勤めていた県の国際交流課の北側の窓から、日赤の建物をかすめて、高高の校舎の一部が見える。ある日、ふと見ると、「新体」が全く跡かたもなく消えていた。いよいよ新しい校舎の建築が始まるのだなあ、と思っていると、総合会館に面したグラウンドの東側に新しい校舎がニョキニョキと立ち上がり始めた。「新体」といえば、私が入学した年に完成したもので、現在まで20数年経っているにもかかわらず、通称「新体」と呼ばれ、その間の卒業生に親しまれていたものである。私も高高に15年在職し、入学式、クラスマッチ、合宿、文化祭などで「新体」を利用させてもらった者の1人である。

3月の終わりのある夜、電話がかかってきた。41年卒の箕田氏からで、彼の年度が今年の東京玉翠会の総会運営を担当するとのこと、何か文化祭の思い出について一筆の依頼であった。

私が生徒のころの文化祭については、ほとんど記憶がない。ただ、スクエアダンスの「わら七」を恥ずかしいなあと思いながら、放課後練習したこと。それと、夜のファイアストームの時は、暗がりに入ると足蹴りを食うので怖かったこと。このくらいである。しかし、教師になって母校に戻ってきた時には、足蹴りは姿を消していた。ファイアストームもボンファイアに名称も変わり、全体が文化の香りが高くなったというべきか。

以前の名残りとして、しばらくの間ではあるが、残っていた出し物は、仮装行列であったと思う。「新体」の中で、演劇、コーラス、ESSの英語劇等、また、教室では各クラブ、クラスの展示が行われている一方、運動場では、恥も外聞もなく(?)変装して、観視の中、歩いたり踊ったりする。かくいう私も、2回ばかり仮装行列に加わった。というより、クラス担任として、無理矢理仮装して、グラウンドを1周させられた。その1回が、箕田氏のクラス担任だった時である。あのクラスは、エンターテイナー揃いで、派手好みだったのだろう。また、凝り性の連中が揃っていた。クラス行事で、コーラスの代わりに仮装を選んだのだから……。

テーマは「世界のカップル」ということで、男女あべこべの役割を演じた。こういうことになると、このクラスは本領を発揮。一致団結して仮装に取り組んだ。私は、ジュリエットに扮したのは、よく憶えている。金髪のカツラも衣裳もすばらしいものを用意してくれた。箕田氏はクレオパトラ、等々。ゴジラがおり、忍者もいた。この出し物は、なかなかの評判で、2位に入賞した。白いシャツに黒で網目模様を入れて忍者に扮したM氏、ゴジラを演じたT氏もお元気だろうか。なつかしい。今、これを書きながら、頭に浮かんでくる顔は、みな、あの当時の姿だ。機会があれば、高松でお会いしたいものだ。

あの当時から、香川県も相当変わった。昭和63年4月10日に、瀬戸大橋が開通し、本州と四国が陸続きになった。それに合せて、四国横断道、縦断道が整備されつつある。また、昨年12月16日には新空港が開港し、東京―高松間が70分で結ばれた。物質的にも、精神的にも、世界は地球規模で拡がりつつある現在であるが、人の心は、常に何か収斂する一点を求める。それが、高高卒業生の皆さんにとっては母校高高ではないだろうか。

東京玉翠会の今年のご成功をお祈りするとともに、今後益々のご発展を祈念するものである。

生まれ変わる母校

中原 健一

(生徒会長)



来年、わが高松高校は大きく生まれ変わります。かつて第1グラウンドだった所に、新しい校舎が建設されていて、来年春に完成するのです。それとともに、今まで本当に長い間、高高の象徴としてどっしりと腰をおろしていた、現在の校舎が姿を消すことになります。

次頁の左上の写真は昭和57年ごろの校舎の全景です。今はもうない第1・第2体育館や新館も見ることができます。現校舎の原型ができたのは昭和15年頃です。その後、数回の増築を経て今の姿になりました。この増築の跡は、校舎の長い歴史を物語っているようです。棟と棟を接続している部分には段差があったり、4階はその階だけ板張りではなかったりするのですが、その名残りでしょうか。このようなところは、理由を考えると思わず首をかしげてしまいたくなるのですが、校舎の歴史をみると納得がいきました。高高とその校舎の歴史の長さを実感させられます。

増築の跡以外にも、通信制職員室地下の防空壕を筆頭に、へこんだ階段、うぐいす張りの廊下（この2つは生徒が最も実感するものでしょう）、中庭の楠の木……と、歴史を感じさせるものが非常に多く残っています。ある生徒が、この校舎を「不沈空母」と評したことがありました。長い歴史と、その中で学んできた数えきれない生徒たちの思い出、この二つを背負って番町3丁目に堂々と立つその姿は、まさに「不沈空母」といえるでしょう。

私たちもこの校舎に対しては、いくらか不満もあります。例えば、床がきしむとか、夏は非常に暑いとか、騒音がひどい等々。しかし、普段は不平不満を言っていない現校舎も、いざなくなってしまうとなると、寂寥を感じてしまいます。そんな生徒の声を反映して、現在生徒会でも、この長い歴史をもつ私たちの校舎の記念行事を催し、現校舎の思い出をしっかりと胸に焼きつけようと計画しています。

いくつかの計画がありますが、現在までに行われたものでは、3月に発行された生徒会総合誌「玉翠」41号があります。この総合誌では、特集を「校舎」として、校舎内のおもしろいところを集めたり、全校生や先生などから随筆を募集したりしました。特集は、今まで何気なく



香川県立高松高等学校 校舎完成模型図 平成元年

見ていた校舎にも、とてもおもしろいところが多くあることを再確認させてくれました。

随筆には、この校舎で学んださまざまな年代の人々の思いが込められており、この校舎の歴史の長さ、年代による意見の相違などもみられ、非常に興味深いものでした。題をみると「校舎焼け残る」「統合時の校舎の話」「校舎の中で」「ぜんざいのにあう校舎」「新体」「旧体育館について」「廊下の天井を突っ走る配水管に捧げる」という作品があり、随筆「校舎に思う」の頁を彩っています。

また、次期（第82代）生徒会長も、文化祭を中心とした校舎記念行事を公約に掲げており、現校舎での最後の文化祭である第40回文化祭を成功させようとはりきっています。

さて、このように現校舎への思いとともに、新校舎に対しての期待も当然あります。右上の写真の「校舎完成模型図」は、現在、正門玄関前に現校舎の模型と一緒に置かれています。週に1度は登下校時に、この模型を眺めています。5階建ての近代的な校舎は私たちに夢を与えてくれます。新校舎には、プラザ、コモンスペース、ゼミ室、メディアセンター、それから同窓会館などが設けられるので、今から非常に楽しみです。工事は日々順調に進んでいて、4階の足場がすでに作られています。ほんの数カ月前までは3メートルほどの壁にさえぎられて、全く見えなかったのに、驚くほどの速さです。この速さが、現校舎への思いを倍増させているのではないのでしょうか。

私が高松高校に入学してすぐの頃を思い出してみると楠の木とへこんだ階段が非常に印象に残っています。いわば、楠の木と階段は高高の象徴といえるでしょう。特に、中庭にしっかりと枝を伸ばしている楠の木は、私たちの心の拠りどころといえます。この楠の木は、新校舎ができて現校舎が壊される時に、今の正門の場所へ移されるそうです。移植にはかなりの枝を切ってしまうことになるでしょう。しかし、新しい場所でもしっかりと根をおろし、やがて枝を伸ばして、また元の姿で高松高校と生徒たちを見守ってくれるものと信じています。

私たちもこの楠の木に負けずに、新しい校舎で文武両道に励みたいと思っています。



東京玉翠会会員 1000人アンケート集計結果

第8回東京玉翠会幹事会では総会に際し、初めての試みとして、会員を対象にアンケートを実施しました。その目的は、①東京玉翠会に関する率直な意見を聞く、②総会運営のアイデアを募る、③総会の事前通知を兼ね参加者を増やす、等にありました。

首都圏在住の会員は約5000名で、その中から年齢、性別など関係なく、無作為で1100名を抽出し、3月下旬に往復はがきを発送し、4月末までにほぼ回収しました。回答があったのは287通で、そのうち有効回答が278（男性123、女性155）でした。有効回答率は25%に達しこの種のアンケートの平均10%に比べて抜群により成績で、本会の活性化が現れています。配達不能は586通、未回収は227通でした。使用した名簿は3年前に確認したものですので、この3年間に約半数が住所を移転したことになり、首都圏在住者の移動の激しさの一端がうかがえます。学年幹事は住所の把握に苦労しているものと思われますので、ご協力をよろしく。

アンケートの内容は、性別、卒業年度別（高中、高女、高高は昭和25年から5年ごとに区切って）に、①東京玉翠会を知っているか、②総会に出席したことがあるか、③出席した目的は何か（旧友に会いたい、先輩後輩と知り合いたい、義理で）、④出席した感想はどうか（楽しかった、まあまあ、楽しくなかった）、⑤仕事や生活に役立つことは（ある、ない、わからない）、⑥会費は（高い、安い、適当）、の質問事項を聞き、最後に自由なご意見をうかがいました。その主な集計結果は次のようなものでした。

1. 東京玉翠会については回答者の98%が知っていました。（知らなかったのは5人）

2. 年代別、性別出席率

同学年の有効回答者の内で、1回以上出席したことの比率です。

高中 (60歳～)	69%
高女 (60歳～)	56
高高	
S25～30卒男	79
(55歳)女	81
S31～35卒男	81
(50歳)女	76
S36～40卒男	67
(45歳)女	74
S41～45卒男	64
(40歳)女	50

()内はおよその年齢です。男女とも50～60歳の方が最も出席率が高く、それよりも年齢が上がるか、下がるかに応じて出席率が低くなっています。高齢者の場合は肉体的な原因が主で、ご意見の中にも「都心に出るのがおっくうになった」とか、「知り合いが少なくなったのでつまらない」とかの声もあります。年齢が若くなると男女とも出席率が悪くなるのは一般的な傾向で、特に女性は子育てが終わらないと出にくいという面が強いようです。ほとんど毎回出席しているという方は高中、高女の中に最も多く、年中行事としてははっきり位置付けされているため「なぜ私にこういうことを聞くのか」というお叱りもあり、この方々によって玉翠会が支えられていることを再確認しました。

3. 総会に出席した目的については

旧友に会いたい	44%
先輩、後輩と知り合いたい	10
義理で（誘われて）	11
その他	8
回答なし	27

ここでの狙いは、義理で（誘われたから、幹事なので仕方なく）来ている方がどれくらいかを知ることでした。11%は思ったより少ない数字ですが、そのうち男性6%に比べて女性は16%で、女性の方が義理強いことがわかります。女性の中には「来てみて良かった」というご意見も多くありました。

4. 総会に出た感想は

楽しかった	29%
まあまあ	36
楽しくなかった	3
回答なし	32

やはり楽しきないと長続きしないので、29%はちょっと気になる数字です。「出し物をもっと考えてほしい」「挨拶はみじかめに」「旧友に出会いやすいように」「上下の交流を促す工夫を」といったご意見もありますので、幹事の工夫のしどころでしょう。さて、今年はどうでしょうか。

5. 会費については

高い	14%
安い	3
適当である	66
回答なし	17

もちろん安いにこしたことはないのですが、都心で800人から集まるとなるとやはりホテルの大会場を使うしかなく、それでもホテル側には年中行事として、かなり無理を聞いてもらっているというのが実情です。高いと感じている方は男性11%、女性17%で「夫婦で出る時には割り引いてほしい」という女性の意見もありました。

6. 会員のご意見から

次に会員のご意見から代表的なものを、年代別にピックアップしてみました。

①高中

「最近中学、高校、大学の同窓会がたびたび行われ、豊かな時代を感じます。過酷な時代を経験した同級生には会いたいと思います」（男性）

「唯々、なんといっても楽しい。ただ、開会前の前置きが長過ぎる」（男性）

「会費にステップを設けて若年層の参加を促す工夫をする必要がある。旧交を温めるのも良いが、刺激し合える同窓をつくるには、若い内から交流する機会を利用していく必要を感じる。玉翠会が発展するために、より活性ある人員の動員を継続させる工夫を」（男性）

「同期生の年次会、隔年次会を奨励することによって、総会を盛大にすることができるのでは（その反対であるという考え方もあるかもしれない）」（男性）

②高女

「思いがけない方にめぐりあって、また楽しい交流が始まるかもしれません」（女性）

「隔年東京晩翠会が開催されるので、そちらに出る方が楽しい」（女性）

「老年者には昼間の時間帯を選んでもらえれば出席者も多くなるのでは」（女性）

③高高昭和25～30年卒

「一度に大勢の人間が食事をするのは無理です。食べることに汲々として、多くの人とコミュニケーションをするのが不可能です。食事をカットして、むしろ人間関係のあり方に重点

をおくのも一つの方法では。スナック形式にするとか」(女性)

「初めて出席した時、同窓、同郷というだけのほとんど知らない人たちの集まりなのに、何となく心安らぐ思いがしました。旧知の人に巡り逢え、思いがけない人との出会いがありましたので、また出席したいと思ったものです」(女性)

「規模が大きくなるにつれ、最初の頃より賑やかさを乗り越して、舞台上何をいつているのかわからず、総会の後のクラス会をのみ楽しみに時間待ちといった感じがして、だんだん楽しくなくなってきつつある」(女性)

「卒業年度だけでテーブルを小さく囲まず、前後3、4年ごとに区切る方がより楽しいのではないか。各界でご活躍の方々の紹介や登壇をより多くし、音楽や舞踊などのアトラクションも増やすとよいのではないか」(女性)

「料理が少ないのは不満。あつという間にピラニアに食い尽くされた牛のような卓上の料理の残骸ばかりは味気ない。一杯のうどんのための長蛇の列、奪い合いのデザートなどどうにかありませんか。飲めない女性はごちそうを食べるのを楽しみに来ているのです」(女性)

「大きな組織になりすぎて、何かよそごとを見ているような感じだった。同年度の人と会うだけが楽しみ」(女性)

④ 高高昭和31～35年卒

「旧交を温める場としてだけでなく、多少なりとも社会的に有意義なこと(たとえば福祉関係)をするのも、大きい規模の同窓会を生かすことになるのでは」(女性)

「高高の同窓会報を定期的に発行して、有料で配布してほしい」(女性)

⑤ 高高昭和36～40年卒

「もう少し世代を超えた交流の場になると理想的です。のちに記念となる写真撮影もあるといい(カメラ持参の人はほとんどいない)」(女性)

「立ちっぱなしでくたびれます。今後は同学年だけの同窓会に出席します」(女性)

「マンネリ化しているので、会の趣旨をどこにおくかはっきりする時にきている」(女性)

⑥ 高高昭和41～45年卒

「東京での同期の友人がいないので一人では出席しにくい」(女性)

「同期とのコミュニケーションははかれるが、上下のコミュニケーションはクラブ等のつながりがないと全くない。その工夫があればつながりが深くなるのでは」(男性)

「1年に1回くらいは東京の真ん中で懐かしい言葉を聞くと、望郷の念にかられ、何か命の洗濯みたいで楽しみにしています」(女性)

⑦ 高高昭和46～50年卒

「子育てが一段落したら参加してみたいです」(女性)

「高高出身の女性の友達が東京になくて、いつも行きそびれています」(女性)

⑧ 高高昭和51～55年卒

「旧友の消息を知りたい。同期の名簿だけ入手することはできないでしょうか」(女性)

[集計後記] 集計担当者の好みのせいではなく、大半が女性のご意見でした。やはり、義理堅い女性に好まれるような会の運営をすれば、それに惹かれて男性も多数出席するようになる、といえそうです。毎年800名から集まる同窓会は東京でも珍しいので、不満としてあげられた点を克服しながら、時代感覚にふさわしい会に発展させていく必要があるようです。

どおっしょんな——卒業生からの近況ミニレター

○…米谷彦三郎先生からのお手紙で、恒川実先生が横浜にいらっしゃることをお聞きして、それから恩師との文通が始まりました。50年前、恒川先生は高中の数学の先生から旧制名古屋工の教授になられ、現在名古屋工大名誉教授、理学博士、82歳。「高中の同窓会にはまだ一度も出席したことがなく、ぜひ50年ぶりに津坂先生をはじめ旧知の方々とお会いしたい」とおっしゃっております。私は6月30日を今から楽しみにしています。

下の写真(左)は先生の教え子であり、名古屋工大で一緒に勤めていた高中18年卒岡田健吉氏(現在同大学名誉教授)と、昨年5月、名工大の同窓会で出会われた時のもの。

(藤井 勲、16年卒)



岡田氏 恒川先生 末包 近藤先生

○…名古屋市守山区にお住まいの近藤春雄先生を去る1月22日訪問し、50年ぶりにお目にかかりました。先生は非常にお元気で「まるで夢のようだ」と喜んで下さいました。(写真上右) 私たちが高中5年の時の皆の写真をもっておられました。先生は亡父の壱(もく)皇学館教授が昭和11年出された『支那学芸大辞彙』を書き直し、3,400項目を加え11,500項目とし、千頁の大辞典『中国学芸大辞典』を53年に出版されました。20数年がかりの集大成だそうです。御年76歳。愛知県立大学名誉教授。文学博士。いずれまた訪問したいと思います。

(末包 盛之、16年卒)

○…五十路に足を踏み入れると、急にサムエル・ウルマンの「青春」という詩の一節がとても深みのある言葉に思えてきます。空覚えなのですが、「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。(中略)年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる」。なるほどと共感を覚え、気持ちだけは若々しくいたい思い、その秘訣は機会を見つけて歓談したり、食事を共にする同級生との交流ではないかと思えます。ここ7、8年、春と秋、各自のスケジュールを合せて小豆島へお遍路に出かけて、自然を楽しんでいますが、つい足腰の衰えを口に、互いに慰め合っている今日この頃です。

(秋山静子・旧制矢田、32年卒)

○…岡山から高松へ帰り、外科胃腸科を開業した主人（千秋、28年卒）を助けて（？）丸13年。幼稚園児であった末娘も高高3年生。義母も含めた7人家族の面倒も、あと少しで老熟年者のみが残るような気配。油絵を描く主人の横で編物をし、老化防止にとテニスに興じるごく平凡な主婦です。

二男、三男、長女と続いた高高での役員も今年で6年目、生徒としてのみならず教師として（1年4カ月間）、そして今PTAとして最後の現校舎に馴染ませてもらい、高高が大きく変わろうとしている節目に参加させていただいている今日この頃です。

（田井朋子・旧姓土居、35年卒）

○…高高を同じ時期にした同級生。同じ会社に入り（入社時期は事情があって少し違うが）会社ではライバル。それがわれらの37会の仲間の松本敏彦さんと柴田泰山くん。二人はあの「人とキカイのことを考えている」タダノのホープです。マッチャンは欧州、中近東、そしてタイザンはシンガポールと各々国際舞台で大活躍。現在はマッチャンが台湾、タイザンは大宮と単身赴任中。二人には今後も大いに頑張りたいと思うわれわれ同級生です。

（文責37会タダノ応援団一同）

○…この4月に、15回目（勤めて22年目）の転勤で、つくば研究学園都市にある建設省土木研究所に来ました。家族は東京においての単身生活ですが、仕事が比較的（？）暇なのと、住宅、公園、道路などの環境が素晴らしいので、つくばに別荘を持った気分で快適な生活をしています。しかし、週の約半分は東京での仕事と、家事手伝いで現実に引き戻されています。去年は、小学校の30年ぶりの同窓会、大学の20年会有りました。今年は、東京玉翠会、40年卒の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

（松村哲男、40年卒、建設省土木研究所道路研究室）

○…「インフラ整備」「花子族」「衣・食・遊」聞き慣れない言葉が仕事の中にも登場、これなんや？ のカルチャーショックもやっと収まってきました。というのも、昨年暮れまでの3年間、三重県の自動車販売会社に出向して、また舞い戻ってきたからです。伊勢湾の海、青山高原の緑、人情味溢れる土地柄の中、通勤地獄から解放され、人間らしく生き生きと送れた気がします。久方ぶりの都会、通勤地獄と仕事漬け、もっと余裕がないのかしら。土日は休みになったものの、寝だめの日々を送っています。あなたは「どっしょんな」。

（辻 貴之、47年卒）

○…高松を出てからのほうが長くなってきましたが、故郷のことは忘れたことはありません。

瀬戸の島々を左右にながめながら大橋を渡った時は感動しました。高松駅を出て栗林公園に伸びる中央通りの電柱は取り除かれ、すっきりした街並みになりました。中央公園や新しい美術館のあたりも四季折々の花が植えられ、木々の緑もふえてきました。

念願の新空港のおかげで東京から1時間。どちらにしても話題にこと欠きません。ただ残念なことは道路が混むようになってきたことです。そしてあまり開発されすぎないでほしい。いつまでものどかな故郷であってほしいと願うのは私の勝手でしょうか。

（田中純子、47年卒）

○…流れる車窓風景は、はや初夏の兆し。ビジネス上の出張で神戸に向かう新幹線の中で、この原稿を書いています。高高を卒業して16年、社会人になってからでも12年。人と社風にひかれて三和銀行に入社、現在はその新規戦略会社である三和総合研究所に出向し、情報を求めて東奔西走の毎日です。

このような私の大切な人の和の一つが、高高コミュニティです。同期の岡君（49年卒弁護士）と一緒に東京の高高同期の掘り起こしを始めて8年。毎年の東京玉翠会に15～20名、その他にも忘年会、転勤者の送別会など、年を追う毎に昔の仲間と会える機会が増えているのが大きな喜びです。同じ故郷、同じ青春の1頁を共有している仲間～素晴らしい仲間をこれからも取り戻していきたい～このような思いを強く持つ最近の私です。

（岩崎昭宏、49年卒、三和総合研究所主任研究員）

□NHKテレビ日曜インタビュー「林康子さん」より

大川郡大内町出身。高高昭和37年卒業、東京芸術大学大学院卒業後イタリアに留学、47年にミラノ・スカラ座で「蝶々夫人」でデビュー、以来世界のプリマドンナとして活躍している。ミラノにイタリア人のバス歌手のご主人と2人の子供の4人暮らし。昨年、サントリー音楽賞を受賞し、記念公演のために帰国した。聞き手は山川静夫アナウンサー。

— 歌うよりも話す方が苦手だそうです。

林 私は顔の下の方でしゃべるのでとても下手なんです。もっと上の方で、仮面の中で話すようにしないとダメなんです。私が主人に惚れたのは、ローマで電話をした時、そのしゃべり声がとてもいい声だったんですね（笑い）。やはり歌い手はいい声に惚れちゃうんです。

— 東京に来ると何となく気分は違いますか。

林 東京は仕事で帰ってますからまだ緊張していますね。やはり、香川県に帰ってお魚を食べたりすると、やっとリラックスします。

— 地方都市から世界のプリマドンナがどうして出てきたのですかね。

林 私は海まで2、3分の片田舎の生まれで、高松は私にとってその頃から大都会でした。私の声はお魚で育った声かもしれませんね（笑い）。父はすごくいい声をしていました。母はキンキンした声でした。母方の祖母はバイオリンを弾いていたモダン婆ちゃんでした。小学校にはピアノもないのでお琴を習い、それで音感が強くなり歌う部分も多いのでよかったと思います。小さい頃から人前で歌うのが好きで、お酒の席などでよく大声で歌っていました。

小学校でも、先生に言われてみんなの前でよく唱歌を歌い「上野には音楽学校があるから、やっちゃんはおそこにいらな絶対いかんで」っていわれていました。

□編集後記□

本プログラムの制作に際し、多数の皆様へ原稿のご寄稿、広告等のご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。高高の先生方には資料等のご提供ありがとうございました。制作作業を通して、多彩な先輩、後輩の声に接し、文化祭の歴史をひもといて、私たちが共有している青春の一断面を見ることができました。一足先に「私たちの同窓会」を楽しませていただきました。（編集担当：多田則明、織田孝正、大崎文子、表紙：三野哲二、カット：若藤政美）





40年の教員生活を終えて

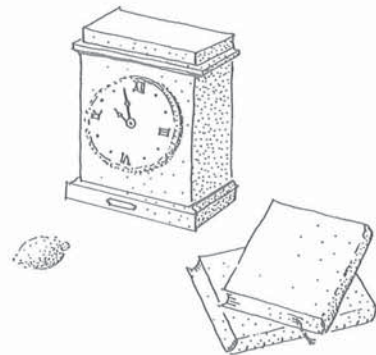
久保 豊

私、このたび40年にわたる教職に終止符を打ち、退職をいたしました。昭和25年に、原爆廃墟の広島を卒業して、直ちに高松高校教諭として教員生活をスタートしました。高松高校にはその後、昭和50年まで、25年間も勤めさせていただきました。爾来、高松工芸高、高松西高、津田高、坂出商高、そして、香川中央高と歴任いたしました。ご承知の通り、近年高松市周辺に高松西高、高松北高、香川中央高と、3つの県立普通科高校が新設されました。たまたま私は、その中の高松西高、香川中央高の2校の創設にかかわることになり、微力ながら全力をこめて駆け続けるような日々を過ごしてまいりました。

昭和41年卒業の皆さんは、戦後ベビーブームといわれた団塊の世代に属しますが、今はその皆さんの二世たちが、高校に在籍する第2次団塊の時代で、その中で生まれた香川中央高校の創設から、今年3月に第1回生を送り出して、私の40年にわたる教員生活を終えたというわけです。

長い道のりでしたし、数々の困難との戦いでしたが、それだけに、今こうして、何とかゴールに到達できて、感慨ひとしおですし、何か心安らぐものがあります。

皆さんとはご無沙汰ばかりで申しわけありませんが、まさに人生充実の年齢に到達し、ご活躍のことと思います。お会いしたいという、懐かしい思いがわき起こります。



世界に広がる剣道

大島 功

(昭和5年卒)

今年度の東京玉翠会総会のプログラム編集担当幹事から「剣道」について寄稿するように、との依頼があった。私が全日本剣道連盟の5代目会長をされており、国際剣道連盟の会長をも兼ねているので、ごもっともな話である。そこで近況を簡単にご報告する。

戦前、剣道は大変盛んであったが、敗戦後、進駐軍の日本弱体化政策にひっかかり、禁止に近い制限を受けた。心ある者が個人的に稽古することは目こぼしされたが、公然と指導奨励することはできなかった。それが、昭和27年4月29日、講和条約が発効するに及んで禁止が解けたので、その年の暮れに全日本剣道連盟が結成された。時の木村篤太郎法務大臣が初代会長となり、国民の士気昂揚のため剣道に志ある者が心を合わせてその普及振興に努めたが、当初は仲々うまく捗らず、どうなることかと思われた。

しかし、日本の復興とともに剣道も隆盛となり、今では思いも寄らぬほど剣道をやる人が増え、婦人や少年だけでなく、老人も国内到るところで竹刀を振るようになった。有段者の登録数120万人、剣道人口は700万人ないし800万人と推計されている。これは、実際に道場で竹刀を振っている実働人員で、体協によると卓球に次ぐ人口となっている。

日本国内で盛んになるにつれ、外国でも日本の剣道を習いたいという人が増えてきた。今では正式に25カ国で国際剣道連盟を組織し、3年に1回、アジア圏、アメリカ圏、ヨーロッパ圏を巡回しながら、団体と個人の世界選手権大会を催している。昨年は第7回大会を、オリンピックが開かれた韓国の首都ソウルで行い、来年はカナダのトロントで第8回大会を開催することになっている。

発足以来20年になり、今年6月下旬にトロントに国際剣連理事会を召集してある。そのため会長の私が欠席するわけにはいかず、6月30日の東京玉翠会総会に欠席する羽目になって、宮井仁之助副会長等の役員幹事諸氏に善後策をお願いしている。

それはさておき、外国人の剣道熱は高く、真面目によく学び、既に白人で6段に達している人もいて、その実力は日本の同段者に決して劣らない。日本からもその国の熱意に応じて、指導者や剣道具を送る等協力して、国際親善に大いに寄与している。私は去る4月に2週間ドイツに行ってきた。それは欧州圏だけの欧州剣道大会がベルリンで催されることになり、これは毎年行って第10回の節目になるので、先方の招待で日本の先生方を同行して出席したのである。立派な試合が展開されたのに感心してしまった。フランスが優勝してオランダが2位、独、英が3位であった。参加国は18カ国でポーランド、ハンガリー、チェコスロバキヤ、東ドイツ等である。多くの困難があるのに、これを克服してよく剣道をやる気になったな、と私が不思議に思うくらい剣道好きである。国際剣連加盟国は現在25カ国に止まっているが、実際に剣道をやる人がいて、日本から指導者を出している国は、中南米、中近東、アフリカを含めて50カ国を超えている。オリンピックの参加については、剣道をスポイルされては困るので私達日本側が抑えているが、立派に普及しつつある現状にかんがみ、スポイルされる心配が減ってきたので、だんだん参加の方向に進もうかと思っている。

私達は剣道を好きでやっているが、人間形成にも役立つ、世のため人のため有用の人材も多く輩出し、国際親善にも役立つ等思い掛けない社会的効用を発揮して驚いている。剣道人は国や経済界の補助を受けなくて、自力で斯道の発展に努めているが、やり甲斐のある剣道界となった現状を心から喜んでいく次第である。



東京から見た高松

村尾 薫
(大正12年卒)

私が高松中学に学んだのは大正10年ごろであった。いま私は東京で雑誌「讃岐公論」を編集・発行しており、たびたび高松へ行くが、近代都市としての高松の発展は目覚ましいものがあり、全国から高松市にきている東京、大阪そのほかの役所・機関・会社の支所、支社、支店の数は、高松市企画課の調査によれば2,184である。瀬戸大橋と新高松空港により、高松が四国の玄関としての中軸的存在はいよいよ顕著になってきた。

あとは四国縦貫横断高速道路の完成待ちと、宇高鉄道連絡船のなくなった淋しさを補うこと以上に、高松港とその周辺をウオーターフロントとして近代設備を整えつつ、高松港頭開発の計画が進められている。さらに国鉄の分割民営化によって生まれたJR四国が、全国7つのJR会社のうち最小の機構ながら、瀬戸大橋開通を契機に躍進している。

このように、高松は近代都市として発達してゆくことは喜ばしいことであるが、考えてみると瀬戸大橋も新高松空港も国の力で出来たものであり、地域の県、市、そして民間で実現した立派な施設が少ない。特に目立つのは、琴電瓦町駅とその周辺の土地の再開発が何年たっても実現せず、高松市の繁華街が自転車の通行が多くて、田舎の泥くささが残っていることである。

高松港頭開発計画の進行とともに、瓦町駅の駅ビル建築と、瓦町駅付近の琴電と道路の立体交差、これが早く実行されるべきだといわれているが、一向に具体的進展がないのは、はがゆいことである。一日も早く実行されて、高松市の発展の新しい中心地の一つとなってほしいものである。どうしても地元で出来にくい事情があるのなら、例えば高松中学出身で東京、大阪で活躍してきた財界人の応援を得ればよい。その実行は決して難しいことではないと思う。

高松市の繁華街・丸亀町、南新町、兵庫町、片原町、常盤街は道路と店舗の改装で近代的な美しい商店街となっているが、狭い道路を走り抜ける自転車の群がいかにも田舎的で、しかも歩行者の邪魔になる。いま前記5つの町では土曜日曜は自転車の通行禁止となっているが、これでは不十分で、1年中自転車を禁止して、垢ぬけしたきれいな町にすべきである。隣の岡山市、松山市も繁華街は1年中自転車禁止となっている。また大阪市の心斎橋通り、神戸市の元町通りも自転車は通らない。

外国ではどうか。中国北京では自転車の通行が非常に多い。しかし、北京の大通りは幅が広いので、自転車が沢山通ってもお互いに邪魔にならない。日本の都市の多くは繁華街の通りの幅が狭いので、歩行者専用路として自転車の通行は止めている市が多いが、高松市はその点で非常に遅れている。高松へ行く毎に、繁華街を横断する自転車が大変目障りで、私の体験では70年前の大正時代の高松市に逆戻りしたような感じさえるのである。

高松市は今後いかに進むべきかと考えてみると、それは観光都市として生きてゆくのが一番良いと思う。川が小さく貧弱で水の少ない香川県では、先端産業、化学工業の大きい発展は望めない。高松市は瀬戸内海国立公園に面したその自然風景を大切に、旅行者に快適な滞在施設を提供し、リゾート地としての発展を期待するのが最良の方法であると思う。県外からの旅行者に好感を与えるような街になってほしいものである。

高松市は「瀬戸の都」であると自称しているが、それにはもっと垢ぬけした美しい街となり、瀬戸内海国立公園を訪れる客を十分に楽しませるよう施設とサービスを良くすることである。

高松を離れて60数年、その大部分を東京で暮らした私の目に映ずる高松市の近況には、まだまだ言いたいことは山ほどある。



百歳の赤ひげ先生

家 高 美重子
(大正15年卒)

カンパニー！ と、恒例の太田先生の音頭取りで一層楽しく弾んでくる。玉翠会は今年もまた元気で、久しぶりになつかしい方々とお会い出来る絶好のチャンスと、感謝しながら参ります。太田先生は先頃、突然、右大腿部骨折で、ご子息の病院にて目下リハビリ中のため、「今年はお休みしますから、皆様によろしく」とのおことづけでございました。

今秋、11月11日で、満百歳のお目出度い記念日を迎えられる。先生は、今もなお頭脳明晰、記憶力抜群で、講師を招かれてフランス語、英語を熱心に勉強されている。そのファイトには、唯々驚くばかりで、お歳には関係ない、この限りない向上心は、見習わねばと私まで何か心に意欲が湧いてまいります。

さて、昨年の秋のこと、高松時代からの知人の方が重病になられ、先生に是非診て頂きたいと、神戸から無理して先生のお宅に來られました。その時「先生は、ご自身の愛用の電動式のベッドに病人を寝かせ、ご自分は寒い応接間の床の上で眠られるのですよ」と、病人の姉上は泣いて感謝されました。あのお歳で、この献身的な行為、なかなか出来ることではないと、これこそ、うわさ通りの「赤ひげ先生」と、深い感動に心打たれたのでございました。

高松時代、明善校の校医を長くされ、なお、教壇に立たれ、親切丁寧な教授振りりと誠実な人柄は全生徒の信望の的であり、今なお語り草ともなっているよし。この度のご入院で、まず姫路から、かつて体育で有名だった人見先生が駆けつけられ、先生の留守宅と病院を回りながらお世話されておられます。「私は学生時代から筆舌に尽くせぬお世話になり、命の恩人でもあり、私が今日在るのも先生のお蔭と、感謝一杯で、少しでもお役にたきたい」と、大変謙虚な話でした。

また、毎日のように明善卒の方々が來られて、なつかしい思い出話も賑やかに、その子弟愛の暖かさがほのぼの感じられ、先生も殊の外お嬉しそうなのが何よりと存じました。

先生の一人のお嬢様はアメリカの方と結婚されて、遠くにお住いですが、時折ご孝養をされ、この度も、お元気になられた先生に安心されて、先日帰国されました。昭和44年卒のご子息は、IBMと三宿病院の心臓病の名医として有名で、お人柄も立派なお方です。

先生はこの上ないお幸せなご身分でいらっしゃるながら、遠くは北海道、九州、他各地から先生の治療を受けに來られる多くの方々のため、診療所のあるマンションに、お一人住いされています。昼間、通いのお手伝いさんにセントポーリアの講習に通わせるほどのお花好きで、部屋には美しいお花が一杯です。その素敵な雰囲気は、先生の優しいお心の一を感じさせられます。

また、長く船医をしておられて、外国巡りも多く、国際感覚も洗練されておられ、粋な食通でもいらっしゃる。花を愛し、こよなく人を愛され、その交遊の範囲のお広いこと。このように人生を楽しくエンジョイされる先生ですが、一たび患者さんのこととなると、自身を忘れて尽され、実に誠実そのものの方です。いつも笑顔優しく、私欲の全然ない、神様みたいだと人々は言っています。今時、こんな得難い大先輩は、ギネスブックに載せられるほどに稀です。お元気でいて頂きたく、心からご健康を、皆様とともに祈り申し上げたいのです。

百歳になられても、なお青春のようなお心の先生に、まずは誌上からカンパニー！



「余生」の只中に在って

辻 部 俊 介

(昭和17年・高中卒)

いささか履歴書めくが、私は今、一昨年帝国石油の役員を退き、子会社である不動産会社に勤務している。サラリーマンの世界では、多くの会社によくあるケースであるが、まずは恵まれた境遇にあると感謝しなくてはならないであろう。

ここで、私が今日在るということについて、一つの思いを述べておきたい。すなわち、大正一桁の終わりから私たち大正二桁生まれの世代の者にとっては、あの昭和20年の敗戦以後は、異常なことではあるが、一種の「余生」であったとの思いを拭い去ることはできないのである。当然戦死していても不思議ではなかったからである。その余生が、実は結果的にはまことの人生になっていた。サラリーマンになっても、社会正義や理想に気力を持った20～30代を経て、何時の間にか会社人間となり、約40年善かれ悪しかれ一所懸命に生きたという上で、中味のある人生であったと思いつけている。ここまでの生活を一種の余生だったとすれば、私は二度目の余生として今在る、という思いを否定することができない。

さて私は、こうした思いの中から、まことに迂遠だったという外ないのだが、やっとならばこれからの楽しみを持って、人生の中と深さを探りながら生きるに値する生活をと希求しているところである。ときおり私は、友人たちとの会合の近況報告で「幸か不幸かまだサラリーマン生活を続けている」との辞を前置きとしている。幸というのは、経済的な面よりも、企業の責任を負うという点での一種の張りない緊張感を持っているからであり、不幸というのは、本気になって楽しみを持ちながら生きてゆける生活設計に打ち込むのに、雑音が入るように思えるからである。

昔、入社3年目位の若い頃、先輩から「ライフワークを持って」との忠告を受けたのに、つかうか当面の日常生活に埋没して今日に至った。今にして思えば、己を豊かにし、生涯を通して生きるに値することに結びつくなにかを持ってのことだったのにと、時おり痛恨の思いを込めて思い出している。そして余生は、ライフワークによって光芒を放つであろうに、との思いが去来するのである。

ところで、先ほど「不幸とは生きるに値する生活設計に、会社生活が邪魔になる」と書いたが、これもやはりほんものではないようだ。つまり楽しみに繋がる目標を持って、例えば、むしろ混雑した電車の中で集中して本が読めるように、余裕時間の制限された会社生活の中にあっても集中して、ライフワークともなるその目標に打ち込んでゆけるのではないかと思いついて。それは昨年同窓如水会員で、M商事K部長の話を聞いていよいよ、ほんとうに自分の目標とすることを自分の努力で発見することは、サラリーマン生活の真只中にいることが何の障害にもならないと知ったからである。K部長は、猛烈社員を地でゆく海外駐在生活を送りながら、彼の地ロンドンで、“シャーロック・ホームズ”に興味を持ち、帰国後、昨年、「日本エッセイスト・クラブ賞」を受けたほどの著作を含め、既にこの種のもの2冊を刊行しているのである。第二の余生としては何かにつけて余裕のある私など、K氏に大いに啓発されている昨今である。

それにつけても、話はぐっと飛躍するが、余生にからめての私のひそかな思いは、もう財界を形成する70歳以上の現役経営者は第一線から身を退き、それぞれの余生を愉しむことに精出したら、日本も少しは変わったと欧米あたりから評価されるのではあるまいか、ということである。日本生産性本部理事長であるわが宮井副会長のご意見を伺ってみたいところである。敗戦後、財界パーズがあったのに、立派に若手経営者が後継者として成功したことからも、問題ないと思うのだが……。 (平成2年4月3日)



忘れえぬ高中野球部

藤 井 勲

(昭和16年・高中卒)

昭和15年の高中野球部には加藤定雄・舛形博の好バッテリーがいた。高松商には後に巨人軍に入った多田文久三投手がいた。高商は春の選抜大会に出場し、準々決勝まで進んだ。

同年夏の県大会は屋島球場で行われ、出場校は高中、丸中、三豊中、高松商、志度商、坂出商、丸亀商の7校であった。高中の監督は川口正明氏。志度商の監督は松本清先生で、高中から高松高商を卒業、11年頃から14年頃まで高中で英語を教えておられた。朗読される時の抑揚のある美しいお声は今も私の耳底に残っている。志度商の校長は山口武男先生。高中から長崎高商を出られ、そのせいで松本先生を招かれたのであろう。

高中は1回戦で川畑投手のいる志度商と顔を合わせた。6回になって松本一塁手がライト線上に好運な二塁打を放ち、舛形のレフトオーバーの二塁打でホームインし、8回に2点をあげ3対0で勝った。準決勝は丸亀商と対戦、延長12回4対3でサヨナラ勝ち。

森田・小坂のバッテリーの坂出商は高松商と対戦、多田投手を打ちこんで勝ち、意気まさに天を衝くばかりであった。

結局、決勝戦は加藤投手が坂商から12三振を奪い、4対1のスコアで高中が優勝した。優勝戦の球審は県大会のため特に招聘した早稲田OBの村井竹之助氏であった。村井球審は「坂出の打者は加藤投手の豪球に眩惑され、悪球に手を出し凡打していた」と講評した。

翌日の大阪朝日新聞の香川版は、優勝旗を手にした舛形主将を頭とする高中チームの写真が大きく載せ「至宝投手を擁して一路覇権街道をばく進せんとする古豪高松中学が優勝」と書いていた。

四国大会は高知市設球場で行われた。各県から2チームずつが出場、高中は準決勝で3対0で坂商を破り、決勝戦の相手は徳島商であった。試合前、徳商の篤投手は新聞社のインタビューで「優勝戦は高商の多田投手と投げ合いたかった」と語り、高中を余り問題にしていないうような口振りだった。4対4の同点が続いた。徳商には生田という強打者もあり、9回5点を奪われ甲子園への夢は断たれた。篤文也投手は現在池田高校監督である。

高中ナインのうち舛形だけが5年生で、彼は後に高松一高監督として“怪童”中西太を育てて甲子園の土を踏んだ。二塁手は西村春夫、三塁手横倉光男、遊撃手野村吉秀、左翼手は松野隆明、中堅手は大西潤甫、右翼手は3年生の鈴木陽一。松野、鈴木は戦後母校の監督を務めた。鈴木選手は鈴木義伸氏の長男。2年生でベンチ入りし、初めて岡山県の西大寺へ遠征した時のことを校友会誌『玉藻』に寄稿した。野球評論家として活躍『滅びゆくプロ野球』『プロ野球黒書』などの著書がある。父・義伸氏は元高松市長で香川の近代野球の礎を築いた人である。高中から三高、京大に進んだ。三高野球部の主将だった時、京都に迎えての三高・三高・定期戦で三高を破った。このことを思い出したばいいつも思わず微笑がこぼれたそう。俊足の大西選手は現在高松琴平電鉄社長。

話変わって昭和3年春の選抜大会の優勝戦では、不世出の名投手とうたわれた剛球左腕小川正太郎を擁する和歌山中学を2対1で破って関学中学が優勝した。この時、村井竹之助氏は関学中の一塁手で5番バッターであった。

同年夏の全国大会の準々決勝戦で梶原、三原、岡見、田淵等のいる高中は和歌山中学と対戦した。これは「事実上の優勝戦」といわれた。高中は、5度も甲子園出場の小川投手に13三振を奪われたものの、5本の安打を巧みに生かし、また梶原の好投もあって3対1で勝った。母校創立80周年記念誌『年輪』には、この試合で梶原のショートゴロにより岡見が勇躍ホームイ

ンする写真が載っている。

「最もよく訓練された中学として模範チーム」と称讃された高中は、準決勝で松本商業と当たった。しかし、梅雨のように降り出した雨で2日も休み、梶原投手はウォームアップが不足したのか、立ち上がり調子悪く、3対0とリードされた。6回無死二走者を出し、1番からの好打順を迎えた時、雨はますます激しくなり、コールドゲームの宣告を受け試合は終わった。

だが、観衆は立ち去らず、一言半句の抗弁も苦情ももらさず静かに引き揚げる高中選手に同情と称讃の拍手を送り続けた。当時、名マネージャーだった成田知巳氏は「雨が降らなければ高中は終盤に逆転していましたよ。なにしろ25連勝中で負けるはずがなかった」と。続けて「飛田穂洲さんがわれわれのプレー、マナーを激賞してくれましたよ。でもね、旅館に帰ってから梶原さんが鼻血を出したんですよ。余程悔しかったんだろうなあ。みんなが目を泣きはらしているのを見て、いたたまれなかった」と言っていた。

一方、成田氏と野球部のチームメイトで右翼手だった外科医の田淵知巳氏は、昭和54年3月成田氏の訃報を聞いて「今はちょっとぼかんとした。胸の中を風が通り過ぎるような感じだ」と語っている。名前がともに「トモミ」ということもあって無二の親友だった。マネージャーとしては部員の面倒見がよく「おい、すき焼きにしようや」と部員を自分の家に呼び、しばしばご馳走してくれたという。その上、勉強がずば抜けてよく出来た。「学問が余り得意でない連中にとっては、試験ともなると彼は救いの神。彼のノートがどんなに貴重だったか」と田淵氏はいう。

梶原投手は後に一高、東大に進み、東大の主戦投手としてまた主力打者として活躍し、昭和9年春は実に0.722の高打率であった。

三原脩と村井竹之助はともに昭和4年早稲田に入った。昭和6年6月14日、春の早慶戦の二回戦で、7回水原茂投手がマウンドにある時、その意表をついて三原が劇的なホームスチールを敢行し、成功させた話は余りにも有名だ。この時二塁上には岡見がいた。早稲田の伊達正男は捕手から投手に転じて3日連投し連勝した。この時、早稲田の一塁手は村井、二塁手は三原、左翼手は岡見であった。伊達正男著『私の昭和野球史』には、伊達が三原と共に高中へコーチに行った時の写真が載っている。

岡見吉博選手は兄弟が8人、姉妹が3人いた。兄弟は皆高中に学び、姉妹は皆県女に学んだ“玉翠一家”であった。

松本清先生は大正15年夏は高中の一塁手として、昭和16年春の選抜大会には志度商監督として甲子園に出場された。

松本先生は春夏の高校野球の全国大会の前には、NHKアナウンサーの担当一覧表を送って下さって「俾の放送を聴いて下されば仕合せです」とおっしゃったものであった。

昭和60年春の優勝戦は高知県の伊野商業と帝京高校との間で行われ、初出場の伊野商業が4対0で勝ったことは、まだ記憶に新しいところ。この決勝戦の担当は松本一路アナウンサーである。名前一路は山本有三の大ファンだった母親（元四番丁小学校の熊野先生）が『真実一路』からとってつけた。

この表彰式で両チームの選手がテレビの画面に一人ひとりアップで映し出されると、松本アナウンサーはその名前とポジション、そしてどこかの試合でどういう活躍をしたかを、立て板に水のように紹介していく鮮やかさに、私はいたく感心した。そこで直ぐ先生に感想を書いてお送りした。次はそのお返事で、今は先生の懐かしい遺品となっている。

「今年はゆっくり桜を楽しむことができました。

過日はお葉書有難うございました。息子の放送について大変誉めて下さって有難く思っていると共に嬉しく思います。

子供たちが県外におり、宅では私ども夫婦二人の生活なので息子の放送を通して対面できるのが唯一の楽しみです。お誉め下さった葉書は息子に送ってやります。反省もしたり熱心に聴いている人がいることを喜ぶことと思います。

好季節に向かいますがご自愛の程を。

右取り敢えずお礼申し上げます」



花と緑の仕掛人

寺島哲子

(昭和19年卒)

今年は4月7日から大阪鶴見緑地で、華やかに「花と緑の万博」が繰りひろげられている。万博史上最高の催しのように、熱帯の密林に咲く巨花、ヒマラヤの神秘の花まで名花珍木1200万種、300万株と、想像をはるかに超えた彩りである。植物愛好家ならずとも、日本で見られる「花のオリンピック」に一度は足を運び、目の保養をしたいものである。

別天地のような世界から一転して、我が家の猫の額のような庭に目を転じると、まことにありふれた植物ばかりで、自慢する種類のものとして何一つないけれど、4、5年前から、「さし木で殖やす方法」を体得し、最近は殆ど病みつきの状態で、変わったもの、珍しい植物が目に入ると、放っておかれなくなるのである。花を折るのは「花泥棒ではない」とはいうものの、さすがに人家の庭のは、それがいくら路傍にはみ出している、気がとがめるので、専ら公園とか街路樹に限られる。

「さし木」は条件さえ合えば時期はいつでもよいが、やはり春ざしは3月上旬から4月上旬、夏ざしは6月上旬から7月上旬が効率が良い。約10cmか15cmの丈を充分水揚げし、植える直前に再び切り直し、発根剤をつけて、土は殆どの場合赤玉土を7、腐葉土を3の割合で混ぜ、平たい鉢にやや斜めに並べてさす。後は水をたっぷり与えてなじませれば、約2週間もすれば殆ど成功し根が生えてくる。そして、徐々に大き目の鉢に移し換えて成長を待つ。夏の西陽の暑さと冬の保温さえ気配りすれば、翌春の発芽の喜びはまたひとしおである。今年は昨夏遅くに、花の咲いた後の狼滑りの枝を試みたところ、枝が細いのですっかり枯木の感じとなり、断念していたところ、陽春のある日かすかにうす緑色の、虫眼鏡でも見なければ分からないほどの芽が出てきた。一体いかなるメカニズムかと、小さな芽の息吹きに感動すら覚える。

私は戦後間もなく上京し、昭和20年前半を文京区目白で過ごした。その後家庭を持って、後半は蒲田の親戚の借家住いから始まり、中央沿線の荻窪、西荻窪、吉祥寺と移り住み、40年前後は池袋サンシャインの近くで15年間の団地住まいをした。当時は生産向上を目指し活気はあったものの、消費生活全般にゆとりがなく、石油ショックも経験した。自分も仕事を持って夢中で夢中で過ごしたこともあり、鉄筋3階のベランダに2、3鉢を園芸店から買ってきて、それさえもすぐ枯らして身内の者に笑われていた頃を思うと、我ながらの変身ぶりである。

所沢市に越して来て早くも12年目、まさに「光陰矢の如し」の感がある。西武セゾンが力を入れた新興住宅地の小手指は、鎌倉街道にも通じていて、昔の武将新田義貞が兵を挙げた古戦場である。北口の我が家から線路を渡って直進したところが、東京の飲み水を補給している村山貯水池で、多摩湖が並ぶ風光明媚な狭山丘陵地帯である。また隣接して西武ライオンズ球場がある。当初、心細く感じたこの地も「住めば都」で夫婦二人の終焉の地となりそうである。近年急速な都市化が進み、かなり残っていた林も瞬間に伐られ、現在6階建マンションの建設をめぐって住民との交渉が難航しているが、騒音と殺風景な景色に変わるのは時間の問題であろう。昨年まで必ず聴かれた鶯と、5月頃から啼きながら北上して行く「かっこう」（南国讃岐育ちの私共には大変珍しかった）の声はもう聞かなくなるかと思うと、時世の流れとはいえ、まことに淋しい限りである。

でも、駅の北口の西側に長く続く街路樹の「花木」の大木は、4月下旬頃突然燃えるようにうす紅の花から先に咲き揃い、そのあまりの美しさに気持が高揚する。もちろん、さしきも我が家に根をおろし、ただ今背丈1米の高さになっている。あの憲政の神様「尾崎聖堂翁」が東京市長の時、ワシントン（ポトマック河岸）に贈った桜のお礼に贈られたのが、この「花木」とか。これも四国では知らなかった木、今は最も好きな一つである。「年々歳々花相似、歳々々々人不同」。初唐の詩人劉廷芝作の一節が、一層味わい深く覚える心境の昨今である。



関白親父

河江 一 仁
(昭和26年卒)



集まっていたあ
こんなんしよるけん

久 保 敬
(昭和29年卒)

息子がまだ小学校へ通っていた頃の話である。
「少しは机の上を片付けたらどうだ……！」と、私が小言をいうと、ちらっ……と、私の部屋の方角に目を移し、それでも一応は遠慮しながら、
「だって……、お父さんだって……」
と、小声で言う。すると、この関白親父はやおら胸を張り、なけなしの権威を振りかざして切り返す。
「俺の机は俺だけが使うのだから散らかっていても別に他人に迷惑は掛からない。だから良いのだ……！」
「……………」
暫時、不気味な沈黙の後、息子はそのまま口を尖らせて絶句した。この筋の通らない親の言い分にも口答えをしてはいけなさと自分なりに判断をしたのだろう。
この息子が生まれるまで、私は大きなグランドピアノを仕事部屋においていた。ご承知のように、この下には広大な空間？ があるので、物を放り込んでおくのには極めて具合が良い。
当時、私はオーケストラ用の楽譜を編曲作成する仕事をしていたが、これは結構神経を使うので、資料として本箱から引っ張り出した楽譜は仕事が仕上がっても暫くは仕舞う気にもならず、大抵の場合はそのまま譜面台に残っている。ところが、次の仕事に取り掛かるには邪魔になるので、当然、片付けなければならない。しかし、これを戻しに本箱まで数歩移動するうちに、折角のアイデアが掻き消されてしまうように思えて、つい、この頼りの空間にポイと放り込んでしまうのである。
これを繰り返しているうちにそれが山となり、そのうちに崩れてくる。そこで、早く、整理しなければ……などと思う。しかし、実行はされない。
ところが、1年以上も経って、以前と同じ曲の編曲を依頼されることがある。当然、その楽譜のあるべき所定の棚はモヌケノカラだ。
「ほれ、ご覧……、普段からしっかりと整理をしておかないからよ。で、どうするお積り……？」
いえいえ、決してご懸念には及びません。
「ええ～と、この曲を書・い・た・の・は……去年の春頃だったから……多分……こ・の・あ・た・り・に……」
などと検討をつけ、十数カ月掛けて積み上げた楽譜の山の中から見事に発掘する特技を長年の間に私は身に付けているのである。
しかし、これには一つの絶対的な条件が具わっていないなければならない。即ち、この聖域？ を他人にいじられるとたちどころに一巻の終わりになるのである。そこで、
「いいかい……！ 俺の部屋のは絶対に動かしちゃ～駄目だぞ……！」
と、宣告する。
「それじゃ～、お掃除はどうやってするのですか……」
と、家内が聞き返す。すると関白親父は、
「なに～？ 掃除だと……？ 掃除なんかされて堪まるか……！」
「……？ ……？」
ところで、60にも近付いてくるとこの特技もそろそろ驕（かげ）りを見せはじめた。
「お～いっ！ このあいだの楽譜……、ほれ……、あれだよ……あれ……、何処へやった……？」
「そんなこと知っているわけがないじゃありませんか……」
「お父さんは何を言ってるんだろうね……、お母さん……」
最近では家内も息子も冷たくなった……。……？

5月も第2金曜日の11日の夕、東京・四谷のバー「チロ」に29年卒の何人かが集まって「高二金会」を開きました。筈を背負うて（ああなんとクサイ表現）上京してきた同級生も、今はぼつぼつ第一次の卒業時期に入っています。定年を意識する齢になり、長寿時代の晩節を考えざるを得ない時に“豊かな時間を共有しようぜ”と、バンクマンだった茶屋良樹の提唱で始めたのが「二金会」です。
5月11日はこれまで最低の集まりで、僅か4人でした。寄稿欄のテーマを「二金会」に絞っていた私にはかなりがっかりでしたが、集まった連中に「おまえ、オレの悪口いうたら玉翠会誌に書き上げるけん」と脅かしているうちに、次第に盛り上がってきました。
茶屋は香西の出身。白砂青松の瀬戸内海で育ったころを回想し「朝、浜辺でモンゴイカを手掴みで獲って海水で洗いフネを抜いて食ったことがある」と一気に青春に戻ります。ことのついでに「海中でウンコをして全力で泳いで現場を離れて、フト振り向くと真後ろ付いてきて慌てたのう」と海の神秘性に蘊蓄を傾けていました。
そこに現れたのは建設会社の増田友作です。彼は周辺の人間を至福にさせる趣味があるのです。グルメを自認しており、うまいもの、酒を見付けると必ず持参してわれわれに振る舞うのです。
この日は釣の戦果だといって“一汐いわし”と貝柱の干物などを持ち込んできました。早速焼いたのですが店中に匂いが充満。ママは文句をいうのですが“房総沖のサカナ類は水分が少ないんぞー”とシャーシャー。
歌といえば食品会社の田中恵三はカラオケの名人です。実に思い入れたっぷりに歌い込みます。当夜は「上海帰りのリル」を伸びやかに歌いました。というのは、3月にこの会の常連の朝日の西村秀俊が大阪に転勤になったのです。西村の十八番がこの歌だったのです。田中はカラオケで席を譲った西村に感謝しつつ、競合してなかなか歌えなかった持ち歌を披露したのでした。
西村といえばこんなことがありました。
茶屋と私が1年前、激論というより喧嘩に近いやり合いをしました。久「人生長寿時代。少なくとも65歳まで働くべし」。茶「後進に道を譲るのは日本の醇風美俗。人の生きざまを押し付けることは許さん」。久「おう、許さんでもええぞ」酔いも手伝って互に激昂。……これを西村がメシのタネにしたのです。去年の「敬老の日」のころ、夕刊のコラム欄で「しのびよる老いへの不安」として取り上げたのです。そういえばこの「コラム」では高松の同窓会での「オンナのこ」との懐旧の心情を交わしたことも紹介してましたっけ。29年卒の「オンナのこ」の表現も青春の共有で、この会では正しい日本語として通用するのです。
11日の「二金会」は頭数が少ないので「佻しいのう」と愚痴っていたら、「二金会」の日に必ず顔を出すフラメンコダンスを趣味にしている女性が「私、準会員だから数増えたわよ。元気出して」と参加。現職の文部事務次官も「おれもカイ員だ」と杯を挙げ、次第にいい雰囲気になってきました。
そこへ常連の一人、バンクマンの福田哲夫から電話。律義な彼らしく出張先から欠席の詫びでした。彼は目下俳句に没頭しています。
古さとは 玉藻莉る國 へんろ道 花冷えや 円座の温み 只管打坐 しかんたぎ
彼の近作ですが、「分かりにくい字入れてひとりよがり」と、この会のド素人からこっぴどい批評を受けていたこともありました。
「二金会」は毎月同じ場所で開いております。恩師が顔を出したこともあります。肩苦しい話はありません。会費は割り勘で意外なほど安いです。関東以外の人も、学年が若干違っていても、月の第2金曜日に東京にいる人は顔を出してください。“こんなん 続けよるけん”。
[参考]ところ「チロ」新宿区三栄16 ☎ (03) 353-7842 (地下鉄四谷3丁目が近い)
手元にある一葉の写真を眺めています。高松西側の私の出身地、国分寺町の山が高速道路を通るため半分姿を消しています。変転する故郷を偲びつつ東京の同窓生の友情は故郷の山よりも確かな安定感で時空を超えて結ばれているのです。
(NHK解説委員室)



救急医療の最前線で思うこと

小林 国男

(昭和33年卒)

ビーボ、ビーボと、救急車のサイレンが窓越しにきこえてきます。今日も瀕死の患者さんが運び込まれた様子ですが、私の勤める救命救急センターでは、きわめて日常的な風景です。

昭和33年に私が高松高校を卒業して京都大学医学部へ進学したのは、開業医の家庭に育った環境を考えますと、至極当然のことでした。大学を卒業後、1年間のインターンを終えて外科の大学院へ進学しましたが、その頃から全国的な学生運動の炎は京都大学でも燃え盛り、研究を続ける状況ではなくなってきました。そこで大学院終了とともに米国ボストン市のハーバード大学へ留学し、当時米国でも先端の医療であった移植外科の研究に従事しました。

たまたま留学中に、当時、新設されたばかりの帝京大学医学部の関係者からお誘いの話があり、昭和47年に帰国して外科の講師として奉職することになりました。今日でこそわが国においても移植の必要性が広く認識されつつありますが、当時の状況では移植外科の研究を続行するのは不可能と思われました。将来の身の振り方に悩んでいる折り、帝京大学病院にも救急部を開設する計画が持ち上がり、私は捨身の覚悟で救急医療に取り組むことにしました。それまで東京に無縁の私には学閥も人脈もなく苦勞の連続でしたが、いろいろな人から助けられて、現在では日本有数の救命救急センターとして帝京大学の看板の一つとなっています。

わが国の救急医療体制は、昭和30年代のモータリゼーションによる交通事故対策として生まれた、救急告示病院の制度から始まったと考えられます。その後、昭和45年頃から急増した“たらい回し”の対応策として、全国的に救命救急センターが設立され、重症の救急患者を収容する専門施設として整備が進んでいます。

当救命救急センターでは、各種の救急患者のうちでも特に重症外傷患者を中心に治療しており、私は移植外科から外傷外科へと転向したことになります。ところが昨今の移植への関心の高まりから、脳死症例を多く取り扱う救急医療の医師が、移植問題の渦中へ入らざるを得ない状況になりつつあります。思いがけない巡り合わせで、心中複雑な思いでもあります。

ところで、救急医療は生活に密着したものであるだけに、世相が如実に反映されます。最近では、高齢の重篤な患者さんが著しく増加しています。世間でいわれている高齢化社会は、医療の分野ではすでに現実のものとなっているのです。核家族化が進み、開業家庭医との日頃の関係が疎遠となっている現状では、量の上で往生することはぜひいたくなのかもしれない。

高齢者は心臓病や脳血管障害など突然の重篤な疾患にかかりやすく、殆どの場合に救命救急センター等の施設へ搬送されます。集中治療室に収容されてあらゆる治療が行われますが、社会復帰するまでに回復する例は極くわずかです。最近の医療技術や医療機器の進歩は、多くの生命を救うようになった一方で、意識がないまま家族と離れて病院で横たわる患者さんを著しく増加させてきています。医師としては患者さんの延命のために最善の努力をするのはいうまでもありませんが、身体に何本もの管やチューブをつけ、人工呼吸器につながれている老人を治療していると、本当に幸せなのだろうかという疑問に思えてくるのも事実です。今まであまり気にならなかった人生の最後の生き方が気になるようになってきたのは、私自身が人生の3分の2を過ごして、老年に思いをはせる年齢になったからかもしれません。

わが国は世界史上どの国もかつて経験したことのないスピードで高齢化社会を迎えつつあります。高齢期をいかに生きるかが、これからの大きな課題で、高齢者医療の仕組みも改善が必要でしょう。このようなことを考えながらも、現実にはサイレンの音をきくと同時に修羅場のような救急処置室へ急ぎ、若い医師の指導、教育に忙しい毎日を送っている昨今です。

(帝京大学医学部教授・救命救急センター長)



生かされて生きる

安倍 隆典

(昭和37年卒)

昭和59年、ロス疑惑の端緒となった週刊文春「疑惑の銃弾」の担当デスクとして、ほとんど睡眠もとれない状態だった6月、田舎の弟から、母が脳内出血で倒れたという電話が入った。私はすべてを投げだして田舎に帰りたいと思ったが、事件のあまりにも大きな社会的反響の中で東京を離れることができず、田舎に帰ったのはそれから十日後のことだった。

高松の病院で見た母は、開頭手術をうけ、泣きたいほど無惨な姿になっていた。

その母が呪文のように、一つの言葉をつぶやいていた。

「そうです、そうです、そうです……」

正常な意識を失い、たった一つ残された言葉が「そうです、そうです」という言葉であることが、私には不思議でならなかった。ある意味で、「そうです」という言葉は、母に似つかわしくない言葉だった。クリスチャンであり、市川房枝のような生き方をしたかった母は、独立心が強く、小さな田舎の町では理屈の多い人で通っていた。簡単に「そうです」と言う人ではなく、むしろ周囲に対して「そうではない」と、はっきり言うことの多い人だった。もし人生をもう一度やり直すことができるのなら、母は父と結婚して私たち6人の男を産んだ人生とはもっと違う人生を選ぶのではないかと、私は母をそんなふうと考えていた。

大学のころ、母の誕生日に何もプレゼントできなかった私は、手紙を送ったことがある。その手紙の中で私は、

「母さんが黙って自分のお墓の中に持っていくものがどれほどあるか、そのことを考えると、ぼくたち子供は本当に母さんに感謝しなければならぬと思います」

と書いた。父の話では、その手紙を読んだ母は声をあげて泣いたという。

その母がいま、「そうです、そうです」と、すべてを肯定しようとしている。たった一つ残った最後の言葉で、世の中すべてを肯定しようとしている……、そう思ったとき、不意に涙があふれだし、私は母のない子のように泣いた。(拙著・文藝春秋刊『三浦和義との闘い』所収「湧いてくる言葉」)

父は大川郡引田町生まれで、母は岡山県出身である。明治生まれの強い父は思う存分に生き、その陰で母は苦勞した。母に同情した私は当然のことながら父と対立し、早く父の元を離れたい、早く「父なる香川」から外に出たいと願うようになった。

それから30年の歳月が流れ、父は死に、母も一昨年亡くなり、私はいま47歳である。歳月は人を変え、年齢は人に教える。ひとなみに家族を養う私は、かつて対立した父の苦勞がいまようやく理解できるようになり、日一日と父に引かれていく自分を感じている。そしてこれに並行して、私を育ててくれた「ふるさと香川」が、懐かしく“復活”してきたのである。最近、法事などで田舎に帰り、むかし通った小学校のあたりを散歩すると、懐しさのあまり、思わず立ちすくんでしまうことがある。「失われた時」は、いまようやく私の中に帰ってきたのである。

人は「ふるさと」から離れられるものではない。人は何ものかに「生かされて生きる」のであり、私を最初に生かしてくれたものは、「ふるさと香川」の風土である。

(文藝春秋編集委員)



「サンデーモーニング」 の舞台裏

橋谷 能理子
(昭和55年卒)

日曜朝8時半、世の中の一週間が始まるのと同時に、私にとって最も緊張する時間は始まります。「関口宏のサンデーモーニング」、TBSでいま最も視聴率が高い番組に携わるようになって、8カ月ほどになります。

大学を出てすぐテレビ静岡入社し、1年半で退社。その後、現在の関口宏事務所に所属し、何だかんだでもうまる6年も、まさに生き馬の目を抜くようなテレビの業界で生きています。何もわからずおどおどしていた新人の頃が、まだつい昨日のようですが、実際のところ、「サンデーモーニング」のレポーターでは、最年長のお姉さん。まだ、19、20歳の後輩たちをハラハラしながら見守る立場になってしまいました。

「サンデーモーニング」の一週間は水曜日にスタートします。日曜日から水曜日までに起こったニュース、またその後土曜日までに動きがあると思われるニュースを、会議で全部拾いだし、そのうち重要なもの、面白そうなものをピックアップして、7つのコーナーを構成します。この会議は全ディレクター、放送作家、プロデューサー、そして関口さんの、総勢30人ほどで行われます。それから、1コーナーを、ディレクター、放送作家、レポーターの3人が1チームになって、取材や調査、原稿作りにとりかかります。

よく、レポーターは、用意された原稿を読むだけと思われるのですが、この番組についてはそんな甘いものではありません。木曜日、金曜日は必ずといっていいほど、夜中の12時、1時までかかりますし、ひどいときは土曜日にも11時ぐらいになることがあります。(ちなみに、日曜日は朝5時に起きなければなりませんから、美容にはとっても悪いことになります)

そうやって、練りに練った原稿を元に、ディレクターは土曜日の夜から徹夜でテープの編集に入ります(余談ですが、ディレクターというのは、必ずといっていいほど、GパンにトレーナーやTシャツで、決してきれいな格好ではありません。というのも、このように徹夜が続いたり、ソファや床に転がって仮眠を取る生活を強いられるからでしょう。本当に「みんなよくもってるな」という感じです)。

そして日曜の朝、できあがったテープを手に1コーナーずつ、本番直前の打ち合わせが行われるのですが、時には、その席で、関口さんが「ちょっと違うな」と言うことがあります(この番組に限っていえば、関口さんは単なる司会者ではなく、総監督とでもいうのでしょうか、隅々にまで目を配っています。ですから、ちょっとした部分にでも、妥協することはほとんどありません)。

しかし、そうなるともう大変です。ディレクターは必死の形相で、作り直しにかかります。私たちは「果たして、コーナーまでにテープができあがるのか」と、ドキドキしながらウロウロするばかり、でも不思議なことに、今まで間に合わなかったことはありません。「人間、やればできるんだなあ」と変なふうに感心しています。

そしていよいよ本番。さっきまで眠気まなこだったスタッフも出演者も、1時間半の全力疾走の始まりです。本番中、関口さんとやりとりをしている間は、まさに真剣勝負。コメンテーターの人達や関口さんが、いま何を言いたいのか、どんなものを感じとっているのか、アンテナを張りめぐらせ、全ての神経を集中させて、自分のコーナーをさばきます。こんなふうにして「サンデーモーニング」は毎週オンエアされているのです。

月曜から水曜まではラジオの仕事などをやっており、「忙しい、忙しい」といいながらも、充実した日々を送っています。こんな調子ですから、高松の両親には悪いんですが、しばらくはお嫁にいけそうにもありません。



高松発41年卒より

立野 省一

同窓生の中で早い人は、この春、子供さんが大学生になったということです。

驚きました。ほんとうに。

「おい、おい。時間よ、年よ」と言いたくなります。

「ちょっと、待ってくれよ」と。

高松高校を卒業して25年。自分の子供たちの成長をみているだけで、one generationが終わり、次の世代が確実に育っているという感じがします。

高松市在住のもので、年に1回ゴルフをしています。腹が出ていたり、頭が少しぐらい薄くても、皆な昔のままの若さです。某工務店の社長やA社の専務、B社の副社長、いずれも高高時代から一つも進歩していません。いつまでも、同じパターンで、女子が好きです。

某店の女主人、C社の社長夫人、女医のD先生、昔から男子をあごで使っていたようですが、ますます年季が入ったみたいです。

しかし、皆いつまでも変わらず綺麗ですね。高高時代のままです。

終戦っ子の私たちは数が多いのだけが自慢で、厳しい競争社会の中をパワフルに生きてきました。「団塊の世代」ということですので、死ぬまで威勢がよく、自分たちの価値観に自信を持って生き抜いていくことでしょう。

これまで、私たちは上の世代を、あるいは否定し、あるいは乗り越えようと努力してきたように思います。しかし、これからは、次の世代のことも考える時期にさしかかったような気がします。

私たちは、自分の子供たちに何を伝えるべきなのか。伝える何かを残せるのか……。一服煙草を吸いながら、高3と高1の父親は、久しぶりに考え込んでおります。

(平成2年5月4日、同窓会幹事会の夜)



高松中学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正4年9月制定)

作詩 藤井 静夫

作曲 安田 俊高

あーさひかがやくしまやま さざなみ  
よする たまもうら へーいわみなぎるそのひび  
き せーいきあふるるそのひかり わがまな  
びやにーみちみちて いそしむけんじ  
1.2. 3.  
いっせんよ せひる がへせー

- 一、朝日輝く屋島山  
小波寄する玉藻浦  
平和漲る其の響  
生氣溢るゝ其の光  
我が学舎に充ち満ちて  
いそしむ健児一千餘
- 二、御稜威と共にいや高く  
朝夕あふぐ碑は  
日嗣の皇子の行啓の  
千代に朽ちせぬ記念なる  
奮闘努力の健男児  
ゆめな忘れそそのかみを
- 三、厳冬霜雪色かへぬ  
紫雲の松を名に負へる  
我が中学の健児等よ  
堅忍不撓功遂げて  
屋島山頭いや高く  
名誉の旗を翻へせ

# 高松高等女学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(大正3年9月14日制定)

作詩 小原 虎一

作曲 内藤 蝶

みれどもあかぬたまものうらーち
ひろのそこーにしづーくなるーそ
のしらたまーのうるーはしきーき
よーきこころをみがかむみがかむを
1.2.3. 4.
とーめわれーあ とーめわれー

- 一、みれども飽かぬ玉藻の浦
千尋の底にしづくなる
その白珠の麗はしき
清き心をみがかむ
みがかむをとめわれ
- 二、朝夕仰ぐ屋島の山
峰の上はるかにならび立つ
その山松の色かへぬ
高き操を守らむ
守らむをとめわれ
- 三、開くる御代の幸おほき
身にはつとめもさはなれば
うら若き日をたゆみなく
をみなの業を習はむ
習はむをとめわれ
- 四、いや榮えゆく皇国の
生ける効ある御民ぞと
仁慈あまねき大君の
みこと畏み盡さむ
盡さむをとめわれ

高松高等学校校歌

~~~~~\*~~~~~

(昭和26年12月17日制定)

作詞 河西 新太郎

作曲 芥川 也寸志

con brio (♩=108)

mf  
せ い き - あ ら た な ひ に は え て      あ さ ぐ も に お う  
や し ま や ま      あ ま ゆ き よ き      わ こ う - ど が  
こ う が く の ね ん      ゆ る ぎ な く      は つ ら      つ こ そ  
1. 2.      3.  
る      い      き      を      み      よ      よ

- 一、 世紀新たな陽に映えて  
朝雲匂う屋島山  
おお眉清き若人が  
向学の念揺ぎなく  
澁刺挙る意気を見よ
- 二、 平和かがやく波よせて  
鏡と澄める玉藻浦  
おお純潔の若人が  
真理の道を究めゆく  
独立自主の熱意見よ
- 三、 仰ぐ紫雲の松風に  
雪持笹のさみどりに  
おお希望わく若人が  
自由と愛の血に燃ゆる  
わが高松高校の自治を見よ

# 高松高等学校

## 朝日輝く (校友会の歌)

~~~~~\*~~~~~

作曲 荒井 三郎

あ さ ひ か が や く や し - ま や ま さ
さ な み よ - す る た ま も う ら へ い わ み な
ぎ る そ の - ひ び き せ い き あ ふ - る る そ
の ひ か り わ が ま な び や に み ち み ち て い -
そ し む け ん じ い っ せ ん よ

- 一、 朝日輝く屋島山
さざ波寄する玉藻浦
平和みなぎるその響き
精気あふるるその光
我が学舎に満ち満ちて
いそしむ健児一千余
- 二、 厳冬霜雪色変えぬ
紫雲の松を名に負える
我が高松の健児らよ
堅忍不撓功遂げて
屋島山頭いや高く
名誉の旗をひるがえ

寄贈図書目録

皆様に御協力いただきました母校図書購入資金で下記の図書が、特別コーナーを設けて揃えられています。今年もなにとぞ御協力をお願い致します。

| 年度 | 出版社 | 書名 | 巻数 |
|------|----------|---------------|-----|
| S 55 | 文藝春秋社 | 菊池 寛文学全集 | 10 |
| 55 | 趣味と生活社 | 世界への旅 | 11 |
| 56 | 講談社 | 世界動物文学全集 | 28 |
| 56 | 筑摩書房 | 石川啄木全集 | 8 |
| 57 | ライフ社 | 人間と科学シリーズ | 21 |
| 58 | ほるぷ出版 | 体育スポーツ科学選書 | 14 |
| 58 | ほるぷ出版 | 日本の詩 | 25 |
| 59 | 講談社 | 現代総合科学教育大系 | 13 |
| 60 | ほるぷ出版 | 数学マイウエイ | 8 |
| 60 | ほるぷ出版 | 英文「日本大百科事典」 | 9 |
| 61 | 筑摩書房 | ちくま少年図書館 | 100 |
| 61 | 東大出版 | 講座「日本思想」 | 5 |
| 62 | 朝日新聞社 | 「世界の地理」及び別巻付録 | 12 |
| 62 | 河出書房 | 「文芸読本」「自然読本」 | 25 |
| 63 | みすず書房 | 神谷美恵子全集 | 13 |
| 63 | 集英社 | 梅原 猛全集 | 20 |
| 63 | 集英社 | 私の古典 | 22 |
| 63 | 集英社 | シートン動物記 | 9 |
| H元 | 筑摩書房 | 宮沢賢治全集 | 17 |
| 元 | 小川出版 | 世界各国史 | 17 |
| 元 | 清水書院 | 人と歴史シリーズ | 52 |
| 元 | N H K 出版 | 驚異の小宇宙・人体 | 8 |

皆様の御芳志にたいして、心から厚くお礼を申し上げます。
御芳志を上記の図書にかえて、「同窓会寄贈文庫」の銘を付し、在校生・職員等の閲覧に供しておりますことを御報告いたします。

平成2年5月 高松高校図書館

ボクラの文化祭

—第8回東京玉翠会総会幹事を担当して—

箕田 俊介

急速「ふたたびボクラの文化祭」というテーマを掲げて、文化的でなくてもみんなでワイワイやろうということになりました。形式にこだわらず、どうすれば楽しいか、総会運営のアイデアだけでも検討をしていましたが、なぜか最後に本格的に高高の文化祭を追いかけてみようということになり、真面目な私たちの性格が露呈してしまったのです。

折しも新校舎建造中の高高では、現校舎最後の文化祭が9月15、16日に決定されたとのこと。ぜんざいやうどんの模擬店は、なぜか古い校舎が似合ったような気がして、ちょっと感傷的にもなります。

昭和25年に始まり39回を数えた文化祭が、第1回目から各々独自のテーマがあり、それぞれの時代を反映していた……。これは高高の歴史でもあります。高中、晩翠会の先輩方も、本誌から歴史の一部をご一緒に味わっていただければと思います。

さて、私たちは、今回の幹事を担当して、また人のつながり、結び付きを増やすことができました。日頃から縦横の結び付きがこのような機会に有効であるのは当然ですが、過去は皆それを持っていないのが普通です。毎回、総会が終了するたびに、何かを得たという幹事の方も多いのではないでしょうか。

高高41回のメンバーは、これから本当の同窓会ができるような気がします。そう、会のカチをもたない同窓会、いつでも会いたい人が会いたい時に自由に行き来する……。

総会運営は私たちのために用意してくれた先輩からの贈りものなんでしょうか。

ともあれ、「ボクラの文化祭」は今、幕を閉じようとしています。ご協力いただいた先輩、後輩のみなさんや故郷のみなさん、ありがとうございました。

最後に、すばらしい同期生にありがとう。



東京玉翠会会則

第一章 総 則

(名 称)

第 1 条 本会は東京玉翠会という。

(目 的)

第 2 条 本会は会員相互の連絡と親睦を図り、母校の発展を期することを目的とする。

(事 業)

第 3 条 本会は前条の目的を達するため次の事業を行う。

- (1) 会員相互の連絡、親睦を図るための会合、行事
- (2) 会報、会員名簿の発行
- (3) 母校の発展に寄与すると認められる事業

(事 務 局)

第 4 条 本会の事務局を東京都内に置く。

(会則改正)

第 5 条 本会則の改正は幹事会の決議による。

第二章 会 員

(会 員)

第 6 条 本会は、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校及び同高松高等学校（以上五校を母校という）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下通常会員という）ならびに母校の旧職員（以下特別会員という）で東京都及びその周辺に在住する者をもって組織する。

(部会の設置)

第 7 条 1 第 3 条の事業を行うため母校別の部会を置くことができる。
2 部会の運営はその所属会員の協議による。

(会 費)

第 8 条 1 通常会員は年会費を納入しなければならない。

2 年会費の額は、毎年常任幹事会の決議によりこれを定める。

第三章 役 員

(役 員)

第 9 条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 4名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 事務局長 1名
- (5) 幹 事 その員数は次条第 2 項の定めによる
- (6) 監 事 3名

(役員を選出)

第 10 条 1 会長及び副会長並びに監事は総会において選出する。
2 幹事は各卒業年次毎に通常会員の互選により各 1～2 名を選出する。
3 常任幹事は会員の中より会長が指名する。
4 常任幹事のうち 1 名を事務局長、1 名を会計担当として会長が指名する。

(任 期)

第 11 条 役員任期は 2 年とし重任を妨げない。但し補欠により就任した役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第 12 条 1 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは会長の職務を代行する。
3 常任幹事は常任幹事会を構成し重要な事項の審議、決定を行う。
4 幹事は同期生の消息を把握しその連絡にあたるほか、幹事会を構成して会務の執行を決する。
5 監事は本会の会計を監査する。

第四章 会 議

(総 会)

- 第 13 条 1 総会は会長の招集により毎年 1 回開催する。
なお必要ある場合には臨時総会を開催することができる。
- 2 総会においては、次の行事を行う。
- (1) 会務及び会計報告
 - (2) 会員の親睦を図る行事
 - (3) 本会の運営に必要な事項の決定

(幹事会・常任幹事会)

- 第 14 条 幹事会、常任幹事会は必要の都度会長が招集する。

(議 長)

- 第 15 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議長は会長があたる。

(議 決)

- 第 16 条 総会、幹事会、および常任幹事会の議決は出席者の過半数をもってこれを行う。可否同数のときは議長の決するところによる。

第五章 会 計

(会 計)

- 第 17 条 本会の会計は年会費及び寄附金その他の収入による。

(会計年度)

- 第 18 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月末日に終る。

第六章 その 他

(顧 問)

- 第 19 条 1 本会は常任幹事会の推薦により顧問を置くことができる。
- 2 顧問は会議に出席し意見を述べることができる。

附 則

- 第 1 条 本会則は昭和 58 年 6 月 25 日より施行する。

東京玉翠会役員名簿

| | | |
|-------|-----------|--------------|
| 会 長 | 大 島 功 | (高中 35回) |
| 副 会 長 | 宮 井 仁之助 | (高中 44回) |
| | 松 浦 三知子 | (高女 昭和 4 年) |
| | 多田野 久 | (高高 昭和 25 年) |
| | 永 野 精 子 | (高高 昭和 27 年) |
| 常任幹事 | 乾 浩 三 | (高中 43回) |
| | 木 下 薫 | (高中 44回) |
| | 辻 部 俊 介 | (高中 47回) |
| | 大 西 實 | (高中 54回) |
| | 前 田 フ ミ | (高女 昭和 8 年) |
| | 岡 式 子 | (高女 昭和 11 年) |
| | 東 原 武 子 | (高女 昭和 13 年) |
| | 相 澤 輝 子 | (高女 昭和 17 年) |
| | 和 波 良 子 | (高女 昭和 20 年) |
| | 藤 井 富 弘 | (高高 昭和 26 年) |
| | 久 保 醇 治 | (高高 昭和 27 年) |
| | 井 関 賢 治 | (高高 昭和 29 年) |
| | 近 藤 和 彦 | (高高 昭和 30 年) |
| | 宮 武 敏 夫 | (高高 昭和 31 年) |
| | 三 宅 貴 子 | (高高 昭和 33 年) |
| | 三 崎 屋 義 正 | (高高 昭和 34 年) |
| | 星 野 正 信 | (高高 昭和 38 年) |
| | 末 包 昭 彦 | (高高 昭和 40 年) |
| | 岡 正 晶 | (高高 昭和 49 年) |
| 事務局長 | 大 西 昭一郎 | (高高 昭和 33 年) |
| 監 事 | 戸 羽 忠 臣 | (高中 51回) |
| | 鷹 尾 律 子 | (高女 昭和 11 年) |
| | 嶋 田 昭 代 | (高高 昭和 34 年) |

祝

第8回東京玉翠会総会

~~~~~

### 第8回東京玉翠会に

### ご協力有難うございました

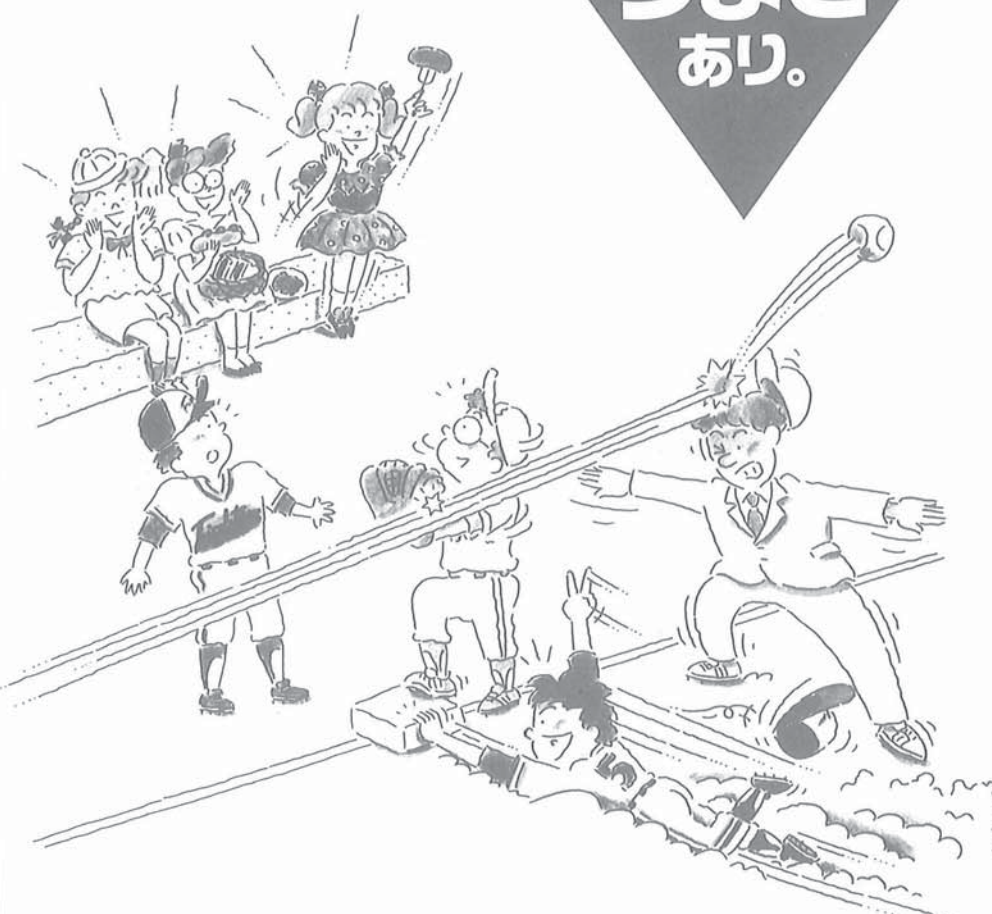
物品等御寄贈戴いた方々

(50音順・敬称略)

キヤノン販売株式会社  
株式会社 四国新聞社  
株式会社 資生堂  
株式会社 タダノ  
日本ハム株式会社  
平川音響株式会社  
富士写真フイルム株式会社  
富士ゼロックス株式会社

**7h ニッポンハム**

チャンスのおかげに  
**うまさ**  
あり。



**Cook Demi**  
料理いきいき  
極ミニタイプ  
クックデミ

**エッセンポルカ**  
あらびきで  
やわらかい  
エッセンポルカ

**シャウエッセン**  
美味なるものには音がある  
シャウエッセン

**Winnie**  
皮なしウインナーの  
トップブランド  
ウイニー



(90年代がめざすAF一眼、ミノルタから)

# 瞬感α登場

'90s  
NEW  
CONCEPT  
PRESENTED by MINOLTA

## 高速AF&1/8000秒高速シャッター搭載

人の眼には見えない瞬間のドラマを、鮮烈に浮かびあがらせる。高速AF一眼、ミノルタα-8700i登場。圧倒的な高速性を誇るAFと超高速1/8000秒シャッターが一瞬の感性をリアルな映像にするのである。いま映像世界を新たな次元へと飛躍させるα-8700i。その全貌が明らかになるほど、90年代が驚喜する。

(α-8700iの全貌を知りたい方は、カタログを請求してください)

(住所・氏名・年齢・機種名記入) 〒105 東京都港区浜松町2-4-1 (世界貿易センタービル) ミノルタカメラ株式会社  
高松OB会係 お客様電話相談窓口/カメラインフォメーションセンター ☎ (03)435-5500

＜希望小売価格(税別)＞ミノルタα-8700iフォーテートAFズーム35-105mmF3.5-4.5NEW付…¥129,000・ケース¥5,000  
α-8700iフォーテートボディ…¥88,000 AFズーム35-105mmF3.5-4.5(マクロ付)NEW…¥41,000(フード含む)  
プログラムフラッシュ5200i…¥43,000(ケース含む)＜新発売＞インテリジェントカード各¥3,000(カスタムカードのみ¥4,000)

※お買い上げの際には消費税額が加算されます

(新発売)



瞬感インテリジェント  
α-8700i



HIGH-SPEED AUTO FOCUS, 1/8000SEC. HIGH-SPEED SHUTTER, WIDE FOCUS AREA, PREDICTIVE FOCUS CONTROL, AF-INTEGRATED MULTI-PATTERN METERING, CENTER-WEIGHTED AVERAGE METERING, MULTIPLE EXPOSURE, INTELLIGENT CARD SYSTEM



結婚式の二次会、各種パーティに……



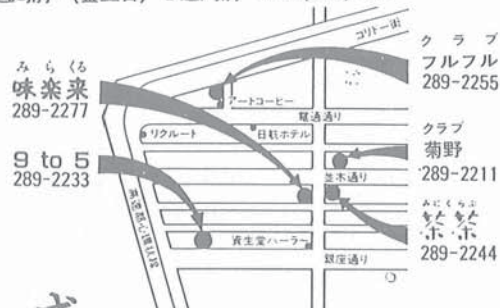
銀座に、ドーンと日本一大きな  
レストランバー! "9 to 5"

銀座にして全席300席を誇る巨大レストランバー 9to5 (ナイントゥファイブ) 場所柄、結婚式の二次会やパーティに目下大活躍!

それもそのはず、各スペース間切り出来るし、ディスコ・ビンゴ・ビデオ・カラオケなどパーティグッズや演出がとって充実しているからだ。料理だって負けてない。研究熱心なシェフが作るカンボジア風カニのレモングラス風味炒め1800円は必食。パーティは1人5000円〜と安い。

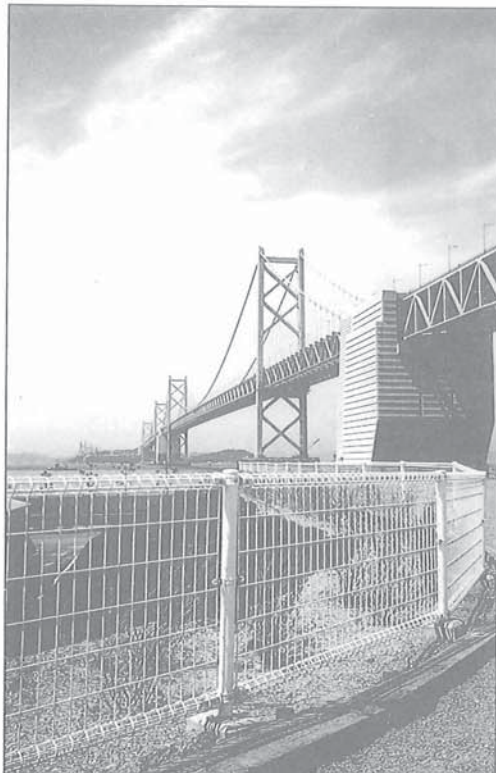
※予約(平日)1週間前・(金土日)2週間前 ☎03(289)2266

●平成グループ



株式会社 平成

〒104 東京都中央区銀座8-8-10 TEL.289-2111 (代)



超えた技術、優れた品質で……

ベストセラー

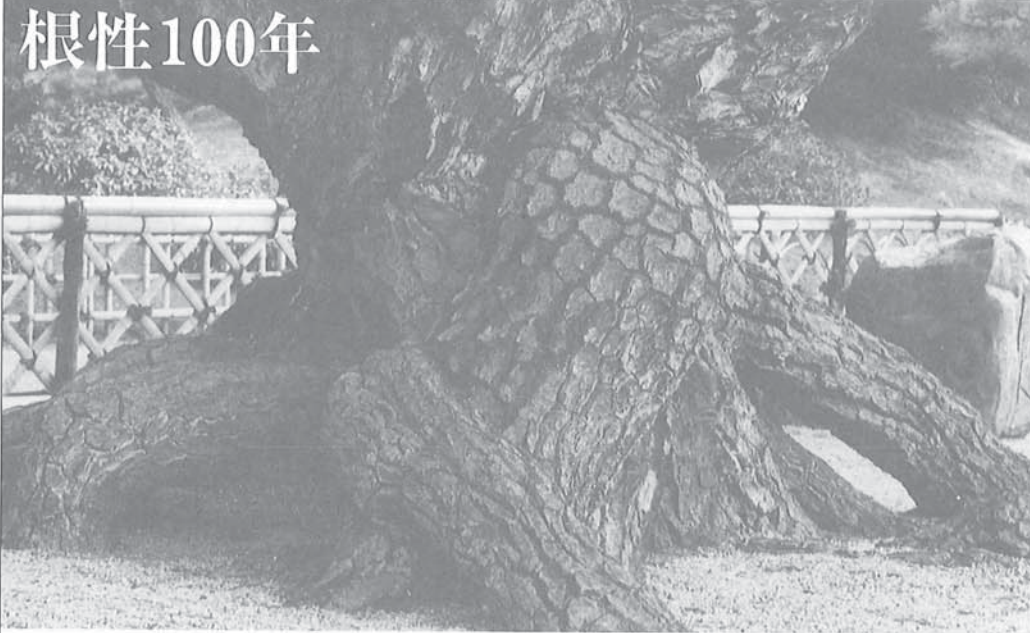
**朝日フェンス**

PCフェンス ・ エバニューフェンス ・ ユニフェンス  
 目かくしフェンス ・ SP防球フェンス ・ バックネット  
 パイプフェンス ・ ガードパイプ

WIRE NET & FENCE  
**朝日スチール工業株式会社**

本社 / 高松市花園町1丁目2-29 電話(代表)0878-33-5151  
 東京営業所 / 千代田区飯田橋2-1-4 (日東九段ビル)  
 電話 03-239-4815  
 営業所 / 東京、大阪、九州、長野、新潟、秋田、仙台、盛岡

根性100年



高松栗林公園の  
樹齢百年を越える老松

いつでもいきいき  
**香川銀行**

取締役 藤井 奨  
 東京支店長 浦野 晃一 (36年卒)  
 取締役 資金証券部長 藤目 清貴 (44年卒)  
 東京事務所長

**KOZAI**



明日の郷土をつくる

建築設計・施工

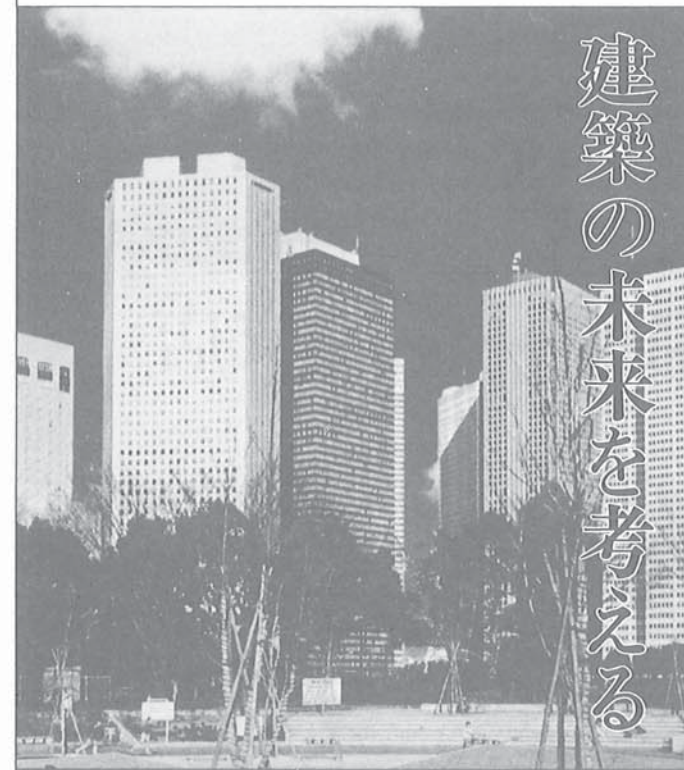
不動産の活用  
 遊休地の利用

株式会社 **香西工務店**

代表取締役 香西 幸夫 (昭和41年卒)

取締役 香西 良子 (昭和48年卒)

高松市室町1919の1 TEL (0878) 67-1875(代表)  
 FAX (0878) 67-1882



建築の未来を考える



本物の贅沢を体験してみる。  
 そんな経験を通じて、  
 あなたは少しずつ変わっていく……。

株式会社 合田工務店  
 〒760 高松市天神前7-5  
 TEL.0878-61-9155代 FAX.0878-37-2604

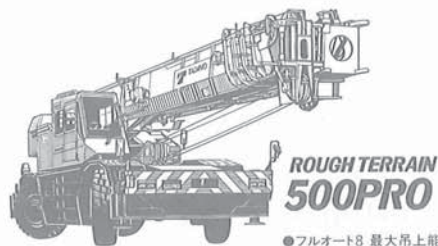
株式会社 合田不動産  
 東京支店  
 〒108 東京都港区芝浦3-13-1  
 TEL.03-454-6561代 FAX.03-455-8896

TADANO

# クレーンに翼を。

そんなしなやかな発想で、クレーンの新しい世界を広げてまいります。

たとえば私たちがお届けしている、ラフターライン®500PRO。  
ここに込められたプロフェッショナルという考えが、その表れては、  
ラフターライン初の3段フルオートジブ(フルオート8)や  
6段ブーム(スーパー8)等の新機構に、  
熱い支持をいただいております。  
これが、タダノのスピリットなのです。



ROUGH TERRAIN  
500PRO

●フルオート8 最大吊上能力45,000kg



幸せと感動を伝える創造企業

## 株式会社 タダノ

本社/香川県高松市新田町甲34番地 0878(39)5555  
営業本部/東京都墨田区亀沢2丁目4番12号 03(621)7777

# 祝 第8回東京玉翠会総会

世界の旅 **TOP TOUR** 日本の旅 **トッス ツアー**



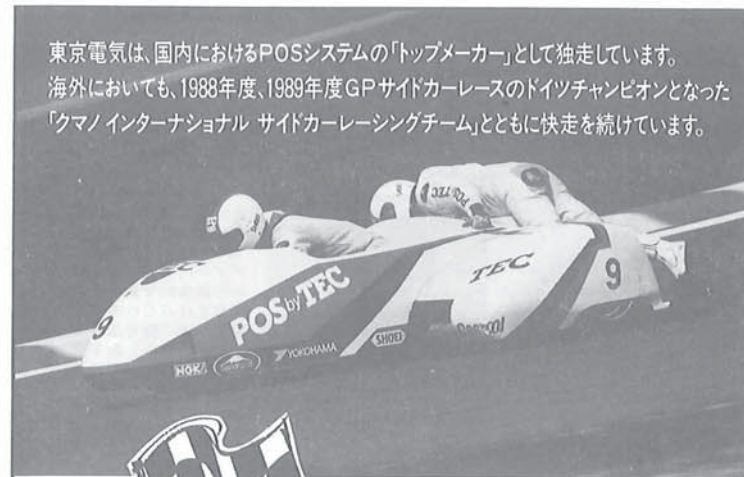
豊かな感動のステージへ

## 東急観光 京橋支店

〒104 東京都中央区京橋2丁目5番21号(京橋相互ビル1階)

☎ 03-561-9501(代)

運輸大臣登録一般旅行業第38号



東京電気は、国内におけるPOSシステムの「トップメーカー」として独走しています。  
海外においても、1988年度、1989年度GPサイドカーレースのドイツチャンピオンとなった  
「クマノ インターナショナル サイドカーレーシングチーム」とともに快走を続けています。

TEC



I am a champion

東京電気株式会社 〒101 東京都千代田区内神田1-14-10 東京建物ビル ☎(03)292-1011(代)



高松市中央通りプロムナード(透水性舗装用れんが PB-Y)

タマモ

### 営業品目

- 外装・床用タイル
- 透水性舗装用れんが
- 外構用各種れんが
- 建築用れんがブロック
- 建築外断熱各工法
- フリーアクセスフロア

技術革新の

## 西谷陶業株式会社

代表取締役 西谷 正行  
(高中42回卒)

専務取締役 西谷 泰征  
(高高44年卒)

本社・工場 〒761 香川県高松市鶴町29-8  
☎(0878)82-1511(代) FAX(0878)81-5590  
綾南工場 〒761-21 香川県綾歌郡綾南町大字千疋560  
☎(0878)77-1121 FAX(0878)77-2236  
東京事務所 〒102 タマモ陶業協業組合JIS表示許可工場No.781031  
東京都千代田区平河町1-5-3 第2大和屋ビル  
☎(03)261-2456 FAX(03)261-2453  
大阪事務所 〒542 大阪市中央区東心斎橋1-18-24 香川ビル303号  
☎(06)241-5967 FAX(06)241-5968  
九州事務所 〒812 福岡市博多区吉塚3-25-15 日新ビル202号  
☎(092)622-9669 FAX(092)629-2383

「新しい時代の食文化をクリエイトする」

## ファッション持帰り寿司の専門 (株)古市庵

平成元年度 (株)東京古市庵  
(株)九州古市庵 を合併  
新生(株)古市庵としてスタート  
資本金 1億2,050万円  
年商 80億  
従業員数 800名  
店舗数 110店舗  
販売先 全国主要各百貨店



〒535 大阪市旭区新森1丁目2-14 ☎(06)955-1199(代)



代表取締役社長  
古市 精男  
(高高29年卒)

食生活多様化のなか私どもは食の原点である“味”を守りつつ様々なアプローチで、より豊かで健康的な食生活の提案を行っています。設立以来「物を造るまえに人を造り、物を売るまえに真心を売る」グループ理念を貫き“働くことに意義を認めあえる企業体”を理想とし、時代のチヤオと追求してゆこうと考えています。

## 「家」ごとパックの引越パック



# 株式会社ひっこしパック

高松本社/☎(0878)22-4656 高松市朝日町5丁目3-110  
東京本社/☎(03)878-6050 東京都江戸川区中葛田町1102  
大阪本社/☎(06)788-6050 東大阪市荒本西1丁目6番  
徳島営業所/☎(0886)63-2070 徳島市西新浜町2丁目2-76  
丸亀センター/☎(0877)25-2360

代表取締役 **楠木 寿嗣** (高高昭和47年卒)

## 大成タクシーCo

車検 钣金 整備 中古車 新車販売 自動車保険

## 大成オートCo

〒761-00 高松市香西本町110

TEL 0878(82)3575

FAX 0878(82)3677

三村 繁夫

(高高40年卒)

## 郷土の酒

清酒



醸造元 池田酒造株式会社

発売元 池田酒類販売株式会社

昭和34年卒 池田 一昌

昭和42年卒 池田 茂

昭和43年卒 池田 紀治

司法書士

## 和泉正俊 事務所

(高高昭和41年卒)

〒231 横浜市中区花咲町1-46-1

GSプラザ桜木町904号

TEL 045-242-9499

FAX 045-242-9629

## 株式会社 スウイング ゴルフサービス

ゴルフ会員権売買は

藤原 典雄 (35卒)

〒107 東京都港区赤坂3-11-14-604

TEL 03-588-0261

一級建築士事務所



代表取締役 **竹田 秀道**

(旧)新日本建築家協会会員

(高高35年卒)

大阪事務所 〒541 大阪市中央区淡路町3丁目1番5号

ハイネス淡路町ビル10F

☎06(227)1921(代) FAX06(227)1924

分室 ☎06(202)4551(代)

東京事務所 〒101 東京都千代田区神田神保町2丁目4番7号

久月神田ビル7F

☎03(295)2624(代) FAX03(295)2620

高松事務所 〒760 香川県高松市塩上町3-2-4

中村第一ビル5F

☎0878(37)7725(代) FAX0878(37)8432

## 新鮮な心のふれあいがある ホテルリッチ高松



観光・商用などのご宿泊  
ご婚礼披露宴  
各種パーティ・ご宴会  
会議・ご会食などに  
ご用命下さいませ。

客室143室/シングルルーム・ツインルーム・ダブルルーム  
和室・貴賓室/全室バス付



ヨーロッパの香り、  
ハイセンスなホテル  
・大中小宴会場  
・結婚式場  
・美容室  
・衣裳室  
・写場  
・駐車場

### ホテルリッチ高松 レストランのご案内

日本料理「いり光」・本館2F  
フランス料理レストラン「レジアンス」・本館2F  
バーラウンジ「セレネ」・本館2F  
コーヒーショップ「アルゴ」・本館1F  
中国料理レストラン「桃花苑」・ホテル北側  
ハイレック料理レストラン「ラ・シレーヌ」・香川県民ホール6F  
ティールーム「カフェ・ド・グランパン」・高松市美術館1F  
コーヒールウンジ「R」・西日本放送会館1F



取締役社長 榎田 昇 (高中42回卒)

高松市古新町9番地1 ☎(0878)22-3555(代)





●HIFAX130M: A3送信/B4受信タイプ  
標準価格(本体価格) 570,000円(税別)

日立高速ファクシミリ

日立特約店

## 株式会社 讚機商会

代表取締役 前谷 亮三 (高高30年卒)  
〒761 高松市郷東町468番地1  
TEL (0878) 82-2121  
東京出張所 東京都千代田区神田淡路町1-9-7  
岡本ビル3階  
TEL (03) 252-2451~3

# 祝

## 第8回東京玉翠会総会開催

東京晩翠部会

ホテルの庭は栗林公園—四季を感じるホテルです。



JR高松駅より車で5分  
高松新空港より一番近いホテルです  
●1F/レストランロイヤルホスト  
●2F/そば庄花蕎 HANASOBA

パークサイドホテル高松 0878-37-5555

ホテル2階 そば庄 花蕎 0878-37-5289

アール・エヌ・シー・パック株式会社 0878-61-4921

## 株式会社 マイコム

代表取締役 三野 博  
(高高昭和41年卒)

〒146 東京都大田区千鳥2-12-12 相川ビル2F  
TEL 03 (759) 2123(代)



## 株式会社 岩本組

代表取締役 藤沢 恒代

東京都北区田端2-3-16-101 TEL(03)823-3161(代)

第8回総会お慶び申し上げます。  
20世紀を貫いて対峙し争い続けた2つのイデオロギーも、共産主義の自壊によって遂に世界の秩序再構築へのエポックに突入しました。聞えるでしょう、新しい時代の息吹きが！ふるさと高松もそろそろ惰眠から目覚めて、メガトレンドに遅れないようにがんばりたいものですね。



高松に新しい風を……

おお た ひ で あ き

## 太田英章

(高高26年卒)

後援会 高松市栗林町2-3-2  
TEL 0878-31-1900

## 岡崎・大橋・前田法律事務所

弁護士 岡崎 洋  
(高高37年卒)

〒101 東京都千代田区神田淡路町1-9  
ニューお茶の水402号  
☎ 03-252-6866 (代表)

## 岡田輝彦 公認会計士 事務所

所長 岡田 輝彦  
(高中44回卒)

☎03(263)0856 (代表)

〒102 東京都千代田区麴町1丁目3番地(麴町1丁目3番地ビル)

## 株式会社 カツミ堂写真機店

(藤本節子 昭和19年卒)

〒104 東京都中央区銀座5丁目9番1号

日曜・祭日営業

☎ 03(571)0468(代)



## 神原薬業株式会社

代表取締役社長 神原 博 (昭和31年卒)

本社・高松営業所 高松市勅使町761-1

〒761 電話(0878)67-3333 FAX(0878)66-0307

愛媛本部・松山営業所 松山市高岡町81-1

〒791 電話(0899)73-7777 FAX(0899)71-5034

善通寺営業所・新居浜営業所・今治営業所  
宇和島営業所・大洲出張所

## CAP キャピトル航空サービス株式会社 CAPITAL TRAVEL SERVICE INC.,

〒162 東京都新宿区住吉町1番11号OSKビル202号  
電話 03(5379)5371(代) FAX 03(5379)0540

専務取締役 森川 伝 (高高35年卒)

出張、留学、招待、割引航空券、まずはご連絡下さい。

- 渡航手続の一切の代行
- 海外旅行の企画、相談及び見積り
- 航空機、船舶、外国内鉄道、ホテルの手配と予約
- 各種パッケージツアーの取扱い
- 旅行傷害保険の取扱い
- 外国人の日本国内旅行斡旋
- 国内航空券の取扱い

様々なニーズをソフトでささえ、ハードで応える

## 極東産業株式会社

取締役社長 中村文俊 (高中50回卒)

■防食加工 ■工業用ゴム・合成樹脂 ■配管機材  
■各種産業機器 ■公害防止機器 ■装置設計施工

本社 東京都港区新橋5-10-5

☎ 03-433-4761

大阪支店・中部支店・鹿島営業所

## 近藤和彦会計事務所

税理士

近藤 和彦

(高高30年卒)

〒110 台東区上野5-15-12 原ビル4F

☎ 03-835-0025

自費出版等 印刷のことなら お気軽に声をかけて下さい

—— 自叙伝、社史等は原稿がなくても本になります ——

当社のスタッフが原稿作成時よりお手伝い

☎ 433-1481

印刷の総合センター 株式会社 三州社

〒105 東京都港区芝大門1-1-21

井関賢治 (高高29年卒)

栗田俊彦 ( " )

一級建築士事務所

## 株式会社 シバ設計

所長 柴原 力

一級建築士

(高高34年卒)

事務所 渋谷区道玄坂1-15-3-319

☎ 476-4371(代)

## 友禪染の教室・オーダーメイドきもの

## 染工房 鈴池

文京区本郷5-30-20 サンライズ本郷2F(東大正門前)

TEL 教室(818)0526 工房(386)4205

## 成城エンジニアリング(株)

代表取締役 岩部 柱相  
(高高30年卒)

〒157 世田谷区砧1-14-14  
☎ 03-420-3134

## センチュリー証券

取締役社長 野崎 博通  
(高中44回卒)

〒103 東京都中央区日本橋本町2-7  
☎ 03-667-0311

Plan-Do-Check のビジネスコンセプトで企業のお手伝い。

- ・マーケティングリサーチ
  - ・セールスプロモーション活動
  - ・各種イベント企画/実施
  - ・各種広告物の企画/制作
  - ・各種ノベルティの企画/制作
  - ・人材派遣サービス  
(一般事務、秘書、キャンペーンガール等)
- 許可番号:一般13-07-0096

代表取締役 中野 希行  
(高高37年卒)

 株式会社 **タイムリージャパン**

東京都渋谷区神宮前1-21-1 原宿ヒルズ2F  
TEL:03-479-1601 FAX:03-479-8288

## 東高化成株式会社

取締役社長 増田 陽三  
(高高26年卒)

本社 東京都中央区京橋2-6-16(エターナルビル)  
TEL 03(563)6271(代表)  
FAX 03(563)6278 104  
大阪支店 大阪市東区淡路町2-40-4(弘栄ビル)  
TEL 06(222)2861(代表)  
FAX 06(222)2863 541

○不動産業務  
三井不動産(株)弥生会々員

○土木資材各種販売、施工  
三井石油化学工業株式会社 代理店  
三星産業株式会社 代理店  
日本ネトロン株式会社 代理店

〒101 千代田区神田平河町2 大興ビル4F  
**東洋プロジェクト株式会社**

代表取締役 大熊 伸  
(高高34年卒)

TEL 03(864)8864

株式会社 藤和コンサルタンツ・丸西税理士事務所

取締役社長 丸西 和幸 (高高43年卒)  
税理士

〒125 東京都葛飾区亀有3-10-5-501  
TEL 03-690-6227 FAX 03-690-6430

## 南海プライウッド株式会社

代表取締役 丸山 修 (高中45回卒)

本社 ●高松市松福町1丁目15番10号 ☎(0878)51-1091(大代表)

上下水道設計・土木設計・測量調査

## 日新技術株式会社

代表取締役 恵比須 忠 (高高42年卒)

本社 〒760 高松市茜町15-20-305  
電話(0878)31-0150 FAX(0878)31-0170  
東京本店 〒160 新宿区百人町1-6-15ヤナギヤビル  
電話(03)200-9269 FAX(03)208-5991  
埼玉営業所 電話(0429)52-9860



観光小旅行に…ジャンボタクシー,花嫁さんには…ブライダルカー

# 日新タクシー株式会社

本社/〒760高松市天神前9番12号 ☎(0878)61-2344(代)

代表取締役 古竹久雄 (高高30年卒)

常務取締役 藤沢 晶 (高高38年卒)



## ニーズに応える確かな技術

進歩と発展を無限につなげる

ニイガタ・エンジニアリング

### 新潟鉄工

本社/〒100東京都千代田区霞が関1-4-1

☎ 03(504)2121

## 西川紀男法律事務所

弁護士 西川紀男

(高高34年卒)

事務所 港区赤坂3丁目2番6号 パゴダビルディング6階

☎ (587)1841(代)



マネープランはラッコのカンカクで



ふやす時代のパートナー



### 日本勧業角丸証券

本店: 東京都千代田区丸の内1-6-1 ☎03(286)7111

営業網: 全国主要都市86店舗 海外: 14拠点



## 日本塩回送株式会社

代表取締役 平井健吉

(高中23回卒)

東京都港区南青山3-18-7 ☎ 03(403)5471(代表)

## (財)日本生産性本部

〒150 東京都渋谷区渋谷3-1-1

☎ 03-409-1111

## 株式会社 間組 四国支店

## 藤井法律事務所

弁護士 藤井富弘

(高高26年卒)

〒105 東京都港区新橋4-31-7 中村ビル3階

TEL 431-2267

431-2304

FAX 431-2365

# フジカナ工業(株)

代表取締役 矢野 裕

(高高30年卒)

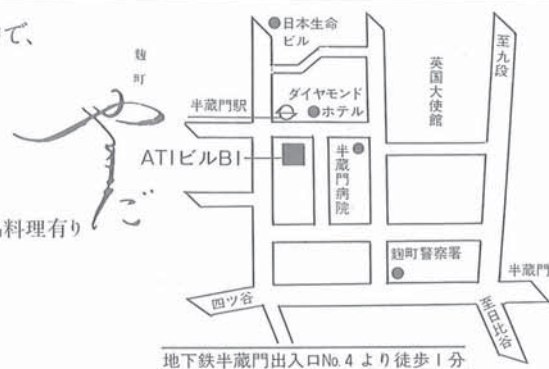
東京事務所  
〒102 東京都千代田区三番町5-14 サンハイム三番町501  
電話 03(5275)3131 FAX 03(5275)3133

麴町の一等地。洒落た欧風インテリアの中で、  
玄海灘直送の生魚料理をお楽しみ下さい。

- 営業時間 11:30 AM ~ 2:00 PM  
5:30 PM ~ 11:00 PM  
日曜日・祝祭日・休業
- 昼定食 1,000円~
- 夕 4,000円コースより、他一品料理有り

〒102 東京都千代田区麴町1-8 ATIビルB  
PHONE : 03-221-0505

山田 勲 (高高32年卒)



地下鉄半蔵門出入口No.4より徒歩1分

## 矯正歯科

渋谷・道玄坂

# 山田矯正歯科クリニック

◎矯正歯科・一般歯科 土・日・祝日休診

院長 山田 勲 (高高32年卒)

渋谷区道玄坂2-28-4 井門インターナショナル6F

☎464-1166(代)



ハートイサービス

# ユニバーサル証券

常務取締役 西本 親吉

(高高29年卒)

〒100 東京都千代田区丸の内3-4-2 新日石ビル

TEL 284-3511(代)

# 海部 医院

院長 海部 泰夫

(高高昭和42年卒)

高松市高松町2356

電話 (0878) 43-3666



讃州うどんの味  
かま象 ずみ

内科・皮膚科・小児科  
かまたクリニック

鎌田 康夫  
鎌田 恵子

流山市南流山3-16-1

電話 (0471) 59-6151

武蔵野線南流山駅より徒歩5分

お気軽に  
お立寄り下さい

スナック

KUEN'S

東京都港区赤坂2-12-18(日商岩井裏)

電話 (03) 583-1038

## MS前後同時ブレーキ

- 左右どちらのレバーを引いても前後同時に効くブレーキ
- 雨天・坂道・急ブレーキでも安心

MS前後同時ブレーキ

## 佐藤技術研究所

〒760 高松市福岡町2丁目28-26

TEL 0878-51-3622(代)

FAX 0878-51-3624

手打うどんと季節料理の店

後援 茶屋

- 日本橋店 東京都中央区八重洲一丁目三番八号 電話(二七四)三五〇三番(代表)
- 京橋店 東京都中央区京橋二丁目十一番一五号 電話(五六七)五八五〇番
- 銀座店 東京都中央区銀座四丁目九番五号 電話(五四二)〇八六一番(代表)
- 田町店 東京都港区芝五丁目三十三番七号 電話(四五四)四六二二番
- 静岡市 静岡市東田中街 電話(四五四)四六二二番
- サンブラザー・ゴテンバ 電話(〇五五)〇八三一七三七番

## 三条山下内科医院

院長 山下和彦

(高高46年卒)

◆診察時間 月曜8時30分～  
土曜午後1時まで

高松市三条町(青空幼稚園横)

☎(0878)67-1201

## 公認会計士

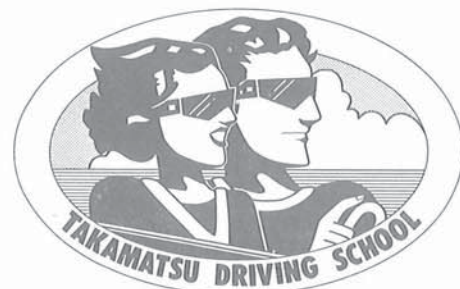
新佐耕二 新佐省三

(高高44年卒)

(高高47年卒)

高松市塩屋町8-1

電話 0878-23-0511



香川県公安委員会指定

## 高松自動車学校

代表取締役 富家輝直 (昭和45年卒)

高松市上天神町646番地 TEL(0878)67-7439代



高松市瓦町1丁目2-4  
グルメ館B1F  
TEL 0878-21-1815



## 多田幸生

(高高41年卒)

## ツゲ医院

柘植司郎

(高高47年卒)

香川県高松市川部町1443-1

☎ 0878 (85) 1 4 3 2

—ご用命をお待ちしています—

★不動産・開発分譲、賃貸借、  
仲介および管理業

★損害保険代理店業(特級)

## 帝石不動産株式会社

取締役社長 辻部俊介

(高中47回卒)

東京都新宿区西新宿1-13-12  
西新宿昭和ビル  
03(348)1461

## ジャストサイズの旅バス旅行 東交バス株式会社

取締役社長 川畑省三

(高高43年卒)

本社 香川県高松市朝日新町32番10号

☎(0878)21-1118

東京営業所 東京都港区新橋6丁目5番地4

☎(03)432-7561

中村公認会計士税理士事務所  
日本マネジメントサービスCo.,Ltd.

経営コンサルタント  
公認会計士 税理士

代表取締役 **中村秀明**

(高高41年卒)

〒760 高松市鍛冶町1-8 中村ビル3F

(美術館南通り)

TEL (0878)51-2333, 2334, 2336

FAX (0878)22-8145

私のお金は遊んでいない

出し入れ自由、高利回り。

## 中期国際ファンド

## 日興証券

高松支店

〒760 高松市紺屋町3の6(中央通り)

電話 0878 (51) 5 0 4 1(代)

日本マンパワーは、  
人材開発の専門機関です。

### 事業案内

- ☑CDS関連各種事業
- ☑通信教育事業
- ☑人材紹介事業
- ☑ビジネススクール
- ☑各種テスト事業
- ☑企業内教育企画事業

### 人材開発とキャリアプランのマンパワー

取締役社長 小野 憲

(高高25年卒)



〒107 東京都港区赤坂4-8-14 ☎03-470-3111

本社 東京 支社 関西・中部・九州・札幌・広島

## 軒原医院

香川県大川郡津田町鶴羽570

## 前田勇税務会計事務所

税理士 前田 勇

(高高38年卒)

事務所 〒102 東京都千代田区九段北4丁目1番5号  
市ヶ谷法曹ビル807号

電話 03(265)9471番(代)

自宅 〒191 東京都日野市平山2丁目14番地6

電話 0425(92)7760番

## マキタディーゼル

画期的な低燃費機関

製造機種

- LSシリーズ(4サイクル)  
1,300P.S~3,400P.S
- 横田/三井・B&W L35MC/MCE  
(2サイクルクロスヘッド型)  
2,925P.S~6,120P.S(サブライセンサー)

株式会社 横田鐵工所

取締役社長 横田 昇  
本社工場/〒760 高松市朝日町4丁目1番1号  
☎(0878)21-5501(代)

司法書士 松尾和代  
行政書士

(高高42年卒)

事務所

〒254 神奈川県平塚市明石町4番12号

電話 (0463) { 22-3355  
22-3376

FAX (0463) 21-0808

## 真鍋光広財政研究所

所長 真鍋光広

(高高33年卒)

事務所 〒760 高松市松縄町51-5  
TEL (0878) 67-5500(代表)

## 真弓皮フ科泌尿器科医院

院長 真弓研介

(高高41年卒)

〒760 高松市福田町13の3  
TEL 0878(21)3913

内科・胃腸科・小児科  
医療法人社団準星会

## 山下医院

山下千恵(旧姓橘川、県女8年卒)

三橋朝子(旧姓山下、高高41年卒)

〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町国分2155の3  
TEL 0878-74-0077(代)

新日軽(株) 日本軽金属(株) 四国地区総合代理店

 朝日新日軽株式会社

取締役社長 杉上宗俊

(高高40年卒)

本社 高松市春日町1408-4  
電話 (0878)41-1134  
FAX (0878)41-1187

快適をクリエイトする考働企業

## 関西電業株式会社

本社/高松市三谷町136番地 ☎(0878)88-3123(代) FAX(0878)88-3100

代表取締役会長 大西修吉(高中大正11年修了)

代表取締役社長 大西大介(高高昭和35年卒業)

車を運ぶなら

## 日宝陸送株式会社

本社 港区六本木6丁目1-25  
TEL 03(408)8181

お食事処 勸世  
かん ぜ

高松市扇町2丁目5番18号 香川大学横  
TEL 0878-51-9260

★鋼製建具 ★ユニットフロアー ★黒板

 株式会社 精五舎

関子 泰(高高46年卒)

本社 高松市天神前5番22号 ☎(0878)31-9111

ソフトウェアの新世代を創造する  
—リサーチ&ディベロップメント専門企業—

## ソフトウェアジェネレーション(株)

代表取締役 本村昭二(高高32年卒)

〒102 千代田区飯田橋1-7-10 山京別館 7F  
TEL 03-234-5638


◀技術者募集中!!▶

# SUPER SELF LOADER

 TADANO

タダノエンタープライズ株式会社  
本社工場/千葉県佐倉市大作1丁目4番1号  
佐倉第三工場 国内 〒285  
TEL (0434)98-3535(代表) FAX (0434)98-3540

**100冊の情報より、1回の旅。**



全国300支店のネットワーク  
最寄りの支店をご利用下さい。

国内旅行は **赤い丸船** 海外旅行は **MACH**

**日本旅行**

株式会社 日本旅行  
代表取締役社長 吉武秀夫  
(高松中 49回卒)

日本の横丁へ、世界の街角へ  
楽しい旅づくり一筋に85年。  
旅を愛するあなたに  
旅を楽しむあなたに  
素敵なプランをたくさん用意しています。  
“日本の旅”“世界の旅”は  
全国の窓口から、ご出発ください。

**創造と前進**



**フジタ自動車工業株式会社**

本社工場/高松市香西東町 205-1 ☎0878-81-2161  
新潟工場/新潟市津島屋6丁目125番地 ☎0252-75-1387

代表取締役副社長 **藤田和久** (昭和42年卒業)

ITALIAN GELATO **popolare**

屋島店、丸亀店、坂出店、観音寺店、浅野店

**飯間 広一郎** (旧姓 三和)  
// **康代**

INAX：タイル・住設機器・ユニットバスルーム 特約店



**三木建材株式会社**

香川県高松市高松町2171-3 0878(41)2241(代表)

情報ネットワーク



新コミュニケーション時代を拓く



**牟禮印刷株式会社**

代表取締役 牟禮 昌忠

〒760 高松市朝日町5丁目3番85号  
TEL.(0878)22-2600☎ FAX.(0878)22-0567 営業所 ■ 東京 / 大阪 / 岡山

<p>株式会社 <b>リンコエフエムシー</b></p> <p>取締役社長 <b>山田 勇</b> (高高29年卒)</p> <p>〒760 高松市城東町1丁目4番3号 TEL (0878)51-7372 FAX (0878)22-0435</p>	<p>株式会社 <b>リンコトランスポートサービス</b></p> <p>代表取締役社長 <b>山田 平一郎</b> (高高29年卒)</p> <p>〒760 高松市朝日新町23番24号 TEL (0878)22-2213</p>	<p>新宇多津ターミナル株式会社</p> <p>代表取締役 <b>山田 勇</b> (高高29年卒)</p> <p>〒760 高松市城東町1丁目4-3 TEL (0878)23-0500 FAX (0878)22-0435</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



株式会社エイデザインセンター  
〒116 東京都荒川区町屋1-4-9  
TEL:03-809-0591 FAX:03-895-5367

代表取締役 **井上 榮** (高高33年卒)



井上美術印刷株式会社  
〒116 東京都荒川区町屋1-4-9  
TEL:03-819-0821(代)

— 旅行のご用命は —



**海外旅行企画株式会社**  
TRAVEL PLAN INTERNATIONAL  
(運輸大臣登録一般旅行業第44号)

〒107 東京都港区赤坂4丁目9番25号  
新東洋赤坂ビル

電話 03 (403) 8 1 1 1 (代表)  
代表取締役 高坂 篤  
(高中51回卒)

**株式会社 東洋鑑定所**

代表取締役 不動産鑑定士 **藤本 勝巳**  
(高高33年卒)

東京都千代田区丸の内2丁目4番1号  
丸の内ビルディング349区

電話 (03)201-1800(代表)  
FAX (03)201-4823

**税理士 山口 修 事務所**

税理士 **山口 修**  
(高高33年卒)

事務所 東京都北区赤羽1-37-13  
城北ハイツ205

☎ (903) 4 1 1 1

**大西 昭一郎法律事務所**

弁護士 **大西 昭一郎**  
(高高33年卒)

千代田区丸の内3-1-1 国際ビル727区  
☎ 03-212-0841 (代表)

**珪素産業株式会社**

取締役社長 **宗本 徳禪**  
(高中37回卒)

東京都杉並区成田西1-17-8  
☎ 03 (313) 6 5 0 5

シール・ラベル } 製造販売  
各種メンバーズカード }

**株式会社 /IYASHI**

代表取締役 **林 征一郎**  
(高高33年卒)

〒104 東京都中央区八丁堀2-1-10 林ビル  
☎ (03)553-1811

**山本亮一特許事務所**  
(高中37回卒)

内外国・特許・商標・審判・鑑定

〒103 東京都中央区日本橋本町4-9(永井ビル)

☎ 03(270)0858-9  
TELEX: 02226632 SANPATJ



<p>(株)ark・1級建築士事務所  <b>所長 稲本陽一</b>  <small>(高高昭和36年卒)</small>          高松市多賀町3丁目18-39          PHONE 0878-34-8440</p>	<p>INTERIOR COORDINATOR SHOP  <b>URBAN HOUSE</b>          代表取締役 <b>奈良崎 稔</b> (高高37年卒)          〒760 香川県高松市今新町7-12          ☎(0878)22-3471          FAX(0878)22-1262</p>
<p>快適エアコンライフ  <b>葵興産株式会社</b>  <b>池田孝平</b> (高高41年卒)          〒761 高松市勅使町114番地1          TEL(0878)67-2424(代表)          FAX(0878)67-6486</p>	<p>ELEGANT SHOES  <b>(有) アケダ</b>          高松市ライオン通り4番街          PHONE 0878-21-6687</p>
<p><b>イーグルハウス興業(株)</b>  <b>松岡孝禎</b>  <small>(高高昭和45年卒)</small>          高松市松福町2-17-1          電話 0878-51-6006</p>	<p><b>株式会社 イシハラ</b>  <b>石原弘毅</b>  <small>(高高37年卒)</small>          坂出市西庄町999-4          TEL 0877-46-3503</p>
<p><b>糸瀬無線電機工業</b>  <b>糸瀬雄一</b>          高松市丸亀町7-11          電話 0878-51-0526</p>	<p>外科・胃腸科・肛門科  <b>井上病院</b>  <b>井上 徹</b> (高高41年卒)          〒769-02 香川県綾歌郡宇多津町大字東分49-7          TEL (0877)49-1700(代)</p>
<p><b>上春医院</b>          院長 <b>上春伸二</b>  <small>(高高昭和41年卒)</small>          高松市生島町252-2          電話 0878-81-3010</p>	<p><b>ELSE</b> 株式会社エルス・プランニング  <small>ELSE PLANNING CO.LTD</small>          代表取締役  <b>和田淑美</b>          〒107 東京都港区南青山2-10-6 外苑ビル          TEL.03(470)0756 FAX.03(470)0734</p>
<p><b>キナシ 大林病院</b>          脳神経外科・整形外科          泌尿器科・内科・外科          外科 橋本哲明 (高高52年卒)          高松市鬼無町佐藤          電話 (0878)81-3631</p>	<p><b>眼鏡店</b>  <b>パティックオウ</b>  <b>株式会社オグラ</b>  <small>本社 〒102東京都千代田区平河町1-6-2          TEL.03(263)6871</small></p>

<p><b>AGENCY</b>  <b>ORIKOMI</b>          総合広告代理店 <b>株式会社おりこみ広告</b>          〒760 高松市番町2丁目7-10          TEL(0878)51-4151 FAX(0878)51-4157</p>	<p>内科・循環器科・婦人科  <b>かとう医院</b>          婦人科 <b>加藤英子</b>  <small>(旧姓 二宮 高高41年卒)</small>          〒520-21 大津市大將軍三丁目8-16          TEL (0775) (44) 1012</p>
<p>焼肉・しゃぶしゃぶ  <b>黒小生</b>          大川郡白鳥町白鳥駅国道沿          ☎0879-25-5000</p>	<p><b>合田商事株式会社</b>          〒761-01 高松市春日町1706番地          電話 (0878)43-1231(代表)</p>
<p><b>坂戸眼科医院</b>  <b>塩田 孝</b>  <small>(高高昭和41年卒)</small>          坂戸市関間1-1-15          TEL 0492-83-4303</p>	<p>庵治石採掘・記念碑 石碑          燈籠庭石類・その他石材一切  <b>三幸石材株式会社</b>  <small>代表取締役 山田 松繁・専務取締役 山田 耕作</small>          香川県木田郡牟礼町大字牟礼2694-1          電話(0878)45-9083(代)・有線5529  <small>〔夜間〕(0878) 45-9334・9616</small></p>
<p>薄型カラーソフトレンズ  <b>シートB-1</b>  <b>新発売</b>  <b>目にやさしい</b>  <b>シートコンタクト</b></p>	<p><b>小豆島国際ホテル</b>  <b>小豆島バス株式会社</b>          副社長：堀本哲弘 (41年卒)          東京営業所：03-215-5151(有楽町ビル)          高松営業所：0878-41-8181(屋島車庫)          本社：0879-62-1200          〒761-41 香川県小豆島土庄町土庄港前</p>
<p>内科・小児科  <b>白井内科医院</b>          院長 <b>白井忠雄</b> (高高46年卒)          〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町新名440-23          TEL (0878)74-3711</p>	<p>外科・胃腸科・放射線科  <b>田井外科・胃腸科医院</b>          院長 <b>田井千秋</b> (昭和28年卒)          高松市田村町(鶴尾小東隣)          ☎(0878)66-7311</p>
<p>玉翠会の溜り場  <b>スナックチロ</b>          例会日 毎第2金曜日          新宿区四谷三栄町16          TEL 353-9847</p>	<p><b>高橋歯科医院</b>          院長 <b>高橋博之</b>  <small>(昭和41年卒)</small>          高松市番町3丁目15-21          ☎ 0878-33-3328</p>

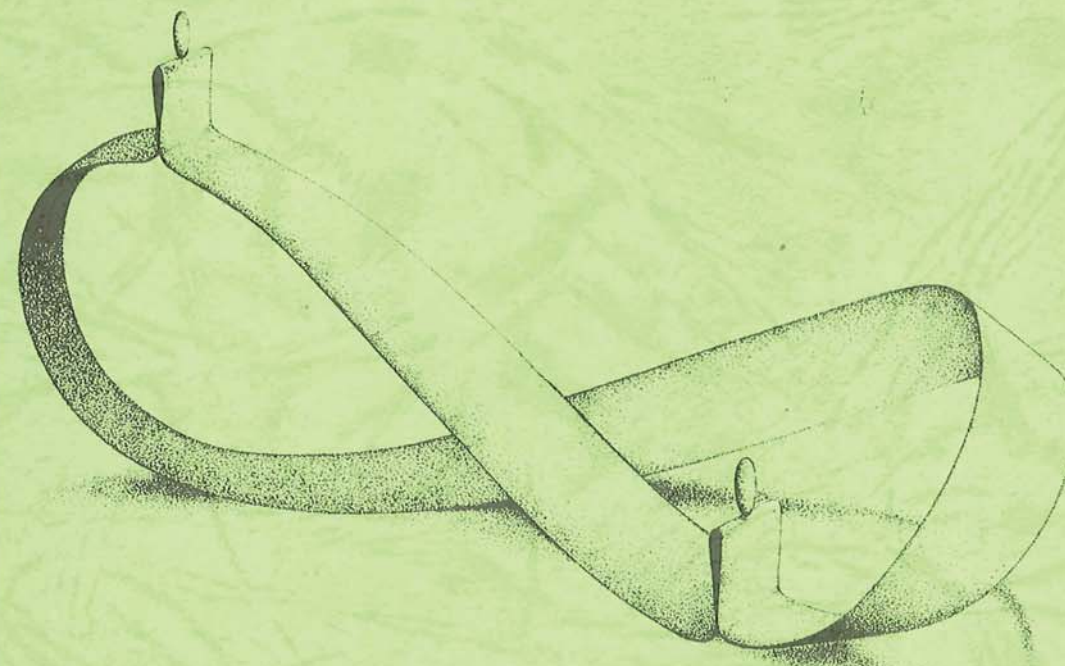
<p align="center"><b>高松</b> <b>センチュリーホテル</b> 〒760 高松市錦町1丁目4番19号 TEL (0878)51-0558(代) 見よ四国を フリーダイヤル 0120-344590</p>	<p align="center"><b>多賀電機株式会社</b> 常務取締役 <b>越智 実</b> (昭和42年卒) 本社 〒760 高松市番町一丁目3番1号 (多賀電機ビル) 電話 (0878) 代表⑤4416番 FAX (0878) ⑤ 8380番</p>
<p align="center">弁護士 <b>立野 省一</b> (高高昭和41年卒) 高松市番町1-10-1 TEL 0878-61-1324</p>	<p align="center"><b>玉藻港運株式会社</b> 取締役 <b>角田 安一</b> (昭和41年卒) 高松市朝日新町9-22 TEL 0878-51-4488</p>
<p align="center">酒の老舗 <b>田村 酒店</b> 代表取締役 <b>田村 俊二</b> (高高昭和41年卒) TEL 0878-21-5368</p>	<p align="center">有限会社 <b>角田米穀商店</b> <b>角田 朝則</b> (高高40年卒) 〒760 高松市城東町1-6-5 TEL (0878) 21-4052 自宅 〒760 高松市城東町1-8-1 TEL (0878) 22-7735</p>
<p align="center">ビスポーク <b>テラー 那須</b> <b>那須 紀王</b> (高高41年卒) 高松市古新町(野村証券東側) TEL 0878 ⑤1 1262・1263</p>	<p align="center"><b>祝 玉翠会総会</b> <b>帝人愛媛興産株式会社</b> 取締役社長 <b>植松 武彦</b> (高高31年卒)</p>
<p align="center"><b>ともしび</b> 高松市瓦町2丁目 0878-34-8696</p>	<p align="center">高級分譲住宅・宅地分譲・仲介 貸家・貸マンション <b>東宝住宅販売</b> 株式会社 〒760 高松市木太町(空港通大池北) ☎66-7269</p>
<p align="center"><b>やきとり 鳥 仲</b> <b>中野 京子</b> (旧姓 渡辺) (高高38年卒) 中央区日本橋茅場町3-2-3 邦山堂ビル TEL 03-661-8748</p>	<p align="center">建築資材総合商社 <b>中 山 産 業 株 式 會 社</b> 代表取締役 <b>中 山 隆 司</b> (高高40年卒) 〒760 高松市春日1640-3 TEL (0878) 41-7800 FAX (0878) 41-8900</p>

<p align="center"><b>長野建設株式会社</b> 代表取締役 <b>長野 新一</b> 高松市東ハセ町865番地1 電話(0878)66-5977 FAX67-5912</p>	<p align="center">新発売 <b>レインボーEX</b> 承認番号No.(01B)1904 ●フレキシブルウェアーの高機能ハードレンズ  <b>南旺光学株式会社</b> <b>レインボーコンタクト販売</b> 本社 03(263)5665</p>
<p align="center">コンプレッサー、スプレーガン <b>日涉塗料株式会社</b> 代表取締役 <b>二川 正嗣</b> (昭和42年卒) 高松市朝日新町7-2 TEL 0878-22-3223</p>	<p align="center">外 科 <b>西川病院</b> 整形外科 <b>西川 洋三</b> (高高昭和41年卒)</p>
<p align="center">弁護士 <b>西山 司朗</b> (高高昭和41年卒) 高松市磨屋町6-8 TEL 0878-21-3373</p>	<p align="center">豊潤なる味わい  日本料理の優しさとぬくもりが 心に深くしみわたる。 美味い料理に出会えたこと、 これ無上の喜びなり。  高松市日野町1-11(0878)71609</p>
<p align="center">医療法人社団研医会 <b>二宮整形外科</b> 理事長 <b>二宮 浩</b> 〒227 横浜市緑区霧が丘4-22-8 電話 045 (921) 8989</p>	<p align="center"><b>濱田法律事務所</b> <b>濱田 清</b> (高高32年卒) 〒102 千代田区新河町1の8の2 山京半蔵門パレスビル604 TEL 03-221-6261</p>
<p align="center"><b>平井タクシー株式会社</b> 代表取締役 <b>平井 大資</b> (昭和42年卒)</p>	<p align="center"><b>HACL</b> <b>平川音響株式会社</b> 一テレホンカードの御用命承ります— <b>平川 峰子</b> (高高42年卒) 〒169 東京都新宿区大久保2-12-12 電話03(232)3001, FAX03(232)8110</p>
<p align="center">株式会社 <b>平田呉服店</b> <b>平田 廣</b> (高高37年卒) 〒760 高松市番町3丁目18番18号 ☎ (0878) 31-3922</p>	<p align="center"><b>富士印刷株式会社</b> <b>穴吹 恵子</b> (高高昭和52年卒) 高松市多賀町1-1-16 電話 (0878) 61-3678</p>

<p>司法書士 <b>藤田道行</b> (高高昭和41年卒) 高松市今里町1丁目3番7号 電話 0878 (33) 3608</p>	<p>整形外科・外科・内科・小児科 医療法人社団三樹会 <b>丸亀第一病院</b> 三浦卓三 (高高41年卒) 〒763 丸亀市通町91 TEL (22)-7311</p>
<p><b>三木会計事務所</b> 三木洋 (高高昭和42年卒) 高松市丸の内10-16 電話 0878-22-7809</p>	<p><b>宮武医院</b> 宮武治郎 (高高32年卒) 〒192 八王子市片倉町1221-26 ☎ 0426-36-8317</p>
<p>瀬戸内海の魚料理 <b>香川やまぎ</b> 石原誠次 東京店 〒107 東京都港区赤坂3-12-3 TEL (03) 583-9836</p>	<p>内科・消化器科・小児科 <b>山田医院</b> 山田淳智 (高高40年卒) 〒769-01 香川県綾歌郡国分寺町新居3388 TEL 0878-74-0040(代)</p>
<p>内科・外科・脳神経外科・理学診療科 医療法人 仁寿会 <b>吉田病院</b> 理事 吉田カツ子 (旧姓 中・高女15年卒) 〒763 丸亀市宗古町15 電話22-8101(代)</p>	<p>ふれ♡めぐり♡を大切に 美容室・化粧品 <b>JJ Beauty</b> 松並店 ☎ 66-9603 三条店 ☎ 66-0670 大田店 ☎ 67-8528 一宮店 ☎ 85-2629</p>
<p><b>高橋歯科医院</b> 院長 高橋利元 (高高昭和40年卒) 高松市塩上町1-5-12 電話 0878-33-5564</p>	<p><b>心と石</b> 墓石の事なら御相談下さい。 香川県木田郡牟礼町2535 木村 稔 電話 高松(878)45-2412</p>
<p><b>祝 第8回東京玉翠会総会</b> 高高昭和36年卒業生一同</p>	

# 可能性は無限大

大きな夢の実現も、新しい感動の発見も  
そのはじまりは、やっぱり小さな一歩から。  
そして、毎日の暮らしも、事業も  
がんばる人の可能性は、いつも無限大。  
私たちは、お客様とのふれあいを大切に  
グローバルな情報と、ネットワークで  
あなたのがんばりを応援いたします。



**百十四銀行**

SHISEIDO

# 運命の鍵は、毛母細胞

薬用不老林  
**ACTIVE**

$\beta$ -Glycyrrhetic Acid  
Hinokitiol  
Benzyl Nicotinate  
d $\delta$ - $\alpha$ -Tocopheryl Acetate  
Swertia Extract Paste  
Pantothenyl Ethyl Ether  
Pyridoxine Hydrochloride  
Cordyceps Metabolize  
Glyceryl Ethyl Hexanoate  
SHISEIDO

そこに力がある限り、髪は抜けてもまた生えてきます。毛母細胞。そして髪の成長サイクルに着目した、薬用育毛料、不老林アクティブ。さあ、頭皮という大地へ！

## 4つの

アクティブエフェクトの力

①アクティブクリーン

頭皮を清潔に保ち、フケ、カユミも防ぐ、爽快な清潔持続作用です。

②アクティブモイスチャー

中国原産、冬虫夏草抽出液(保湿剤)配合。うるおいをあたえ、頭皮のつっぱりを防ぐ保湿作用です。

③アクティブナリシング

より多くの養分を送り、頭皮細胞を活性化させる血行促進作用です。

④アクティブインヒビット

脱毛要因となる頭皮、毛根の炎症を抑え、髪の成長をすこやかに保つ、抗炎症、脱毛予防作用です。

アクティブキャリアの力

アクティブキャリアは、成分波及作用。有効成分を頭皮にムダなく作用させるキャリア剤の効果です。

ゆえに、育毛にものをいう

薬用不老林アクティブ。

## 4つのアクティブエフェクト 薬用不老林 **アクティブ**

(医薬部外品) 5,000円・1,300円 冬虫夏草抽出液(保湿剤)配合 詳しくは店頭でおたずねください

表示価格は税抜希望小売価格です。